考・密・准・扇・考往僥人・
常　密　准　扇　往證人
僥文・注而昇進・昇殿・紙・と
支　隨而昇進　殿上納
根精進精舎商賣潤沢相伴
根精　舎商賣潤沢相伴
請待小身・身・承引入魂壽命
請待小身　上　承引入魂壽命
死而・死共・称念宿縁業愁
然而　共　称念宿　縁　業愁
傷失却・強方・助成成就賞罰
傷失却　臈方助成　就賞罰
斟酌・次・疎勝・勝考・斟酌
斟酌　次　疎勝　勝考　斟酌
以下衆勝
以下衆勝
劣熟談

縁若・衆生・滅・害・得
縁若　衆生　滅　害　得
着周章・衆生・滅・害・得
着周章　衆生　滅　害　得
借用・借銀・借銭・借宅・焼香・焼
借用　借銀　借銭　借宅　焼香　焼
失焼亡・出・現・勤・出御出現
失　出頭　勤　亡　御　現
出精・出・表・式・作法・不勢・始
出精　出　表　式　作法　不勢　始
情　奔　式　作法　所務分始
中・深・与・与・初中後・為・欠・銭
中　深　与　与　初中後　為　欠　銭
中　終深　與　初中後　為欠銭

淨瑠璃 石橋 重衡 自害 附 淨瑠璃石橋 聖天 自身番 順礼順道 風 紫宸殿 櫟新

孔順道 附 風紫宸殿 櫟新

壽永 朔日 辛酉 春正朝 朝 二元 祥月

期月 主上 將軍 監 相公 執

期月 主上 將軍 監 相公 執

柄家 神祇伯 上人 上 鷁 諸太

柄家 神祇伯 上人 上 鷁 諸太

主職人 宿老 舍兄 小便 臆

主職人 宿老 舍兄 小便 臆

聲 童門 消渴 傷寒 衰老 字

聲 童門 消渴 傷寒 衰老 字

燒酎 書籍 赤印 燭臺 春

燒酎 書籍 赤印 燭臺 春

養 燒酎 書籍 赤印 燭臺 春

慶 尺八 唯當 多裏 紙 十 梅

慶 尺八 唯當 多裏 紙 十 梅

慶 尺八 唯當 多裏 紙 十 梅

香 苟菜 縮砂 樟腦 菜 自然

香 苟菜 縮砂 樟腦 菜 自然

墓 長間筆 金露草 四十雀 鯛

墓 長間筆 金露草 四十雀 鯛

著 長間筆 金露草 四十雀 鯛

誡 不須 不願 自今以後

誡 不須 不願 自今以後

誡 不須 不願 自今以後

諸職 受領 稱嘆 梯澄心 念心

諸職 受領 稱嘆 梯澄心 念心

諸職 受領 稱嘆 梯澄心 念心

覺心 法心 說心 流生 涯 前

覺心 法心 說心 流生 涯 前

酒乱　酒狂
出陣　出身
張梁　張梁
弱卒　弱兵
帆前　帆首
帆前ノ弱兵　先陣ノ弱兵
官軍　官軍
上流　上流
上代　上代
上品　上品
上課　上課
釈放　釈放
教邪　教邪
曲邪　曲邪
邪行　邪行
荘厳　荘厳
熟練　熟練
職業　職業
西落　西落
泥積　泥積
善悪　善悪
検純　検純
純一　純一
実業　実業
性質　性質
食物　食物
心外　心外
聖教　聖教
人性　人性
社交　社交
周漏　周漏
無益　無益
巻舌　巻舌
知識　知識
食虎　食虎
拂菻　拂菻
国名　国名
古書　古書
無術　無術

若子撥行神馬藻　清淨
前子撥竹神馬藻　清淨

宿願述懷賞歎證明聲明循環
宿願述懷賞歎證明聲明循環

吸熟吸逢出生脫髮喘涸聲
吸熟吸逢出生脫髮喘涸聲

式三番初對面修羅燃耶乱
式三番初對面修羅燃耶乱

く城郭上院上旬漁云宗云
く城郭上院上旬漁云宗云

言宗云如来聖護院神泉乾
言宗云如来聖護院神泉乾

白柏子悉皆人心膜者食傷
白柏子悉皆人心膜者食傷

福林秋海棠猩く雪猫増泪
錫杖秋海棠猩く雪猫増泪

毋備大泗く孫名已天二天
毋備大泗く孫名已天二天

取次云斗治情強経異異
取次云斗治情強経異異

附晴耶く蹈集銭出初心者
附晴耶く蹈集銭出初心者

絶路道次第不同白髪攻時
絶路道次第不同白髪攻時

機知意師資和合神足通純
機知意師資和合神足通純

熟十三佛
熟十三佛

寺 東大寺の異稱 七ヶ寺 法華、比良、伴寺、極樂、慈善、愛宕、賀茂、高山、金峯、石清水、鳴瀧、立澤、雲林、天龍、建仁、東福、南禪、相國、建長、圓覺、淨智、淨妙、禪興、萬壽、壽福、浄光明、報國、瑞泉、寶戒、寶冠、寶珠、寶鏡、寶積、寶塔、寶幢、寶林、寶金剛、寶嚴、寶藏、寶壽、寶勝、寶性、寶泉、寶德、寶福、寶光、寶明、寶林、寶金剛、寶嚴、寶藏、寶壽、寶勝、寶性、寶泉、寶德、寶福、寶光、寶明

小豆島 四本懸柴屋上流

遮攔 篇名 總十二卷 普門品華

紫摩金 出田長 出

蛮楊柳 石南花 志賀都 垂楊柳 天智天皇 十二代 十九代 天智天皇

七七 加之 無正躰 時刻到來 真

須彌四洲 白河關 吉野 蓮

院 惟三后 猶 增 邪 亂 亂 事 准三后 狩 緋 字 氣 亂 事

無靜心 儒釋道 儒佛道 四聲開合

四神相應 十二因緣 滅 老 死

羅漢西所明神時候相

應神 聖宝 敷目 鎧 油 顏 童

氷節 二月 晉 賤小手 卷 修善寺 紙

天蓋 生々世々流転輪廻 生死流転輪廻 十二
農工商七類八倒七縦八横 十二
仁義礼智信聖徳太子白髪 十二
壮年擯大臣宇心無穏宿命 十二
通六通の肉 慈鎮和尚浄蔵貴所浄 十二
出家宗七條袈裟柴離都 十二
望辰蜀江錦 宝算日日盛者 十二
必衰 諸行無常 十二
慶牛者必滅聖霊祭 十二
増 字 曳會衣出得 十二
浮躁無益笑悦餘 得酔益笑悦餘 十二
梨不打絵岡甲乙恨更江戸 梨不得絵圖甲乙蝦更江戸 十二
忍 忍 忍 忍
恵満禄給柄援荏江 恵満禄給柄援荏江 十二
縁縁 十二
九 九
達上聞 糸乗糸給 十二
趣上聞 糸乗糸給 十二

猟士 楓葉 漁士 絵師 絵馬 脆
衣類 鯛 海苔 海苔 海苔

緣影 緣者緣日 絲不盡意 意
緣類 者日 緒所 魚益遠
意遠 乘堂見堂方 遠俗堂天
慮遠來 見 方 島 炎天
永日 永陽 永々 英雄 標裏 裾
永日 陽 英雄標裏の
庖丁 焔硝 槐 虢亞 猿猴 猫
疱瘡 焔硝 搥 蜀亞 猿猴 猫
增 延年 延寿 延命 命 會上 遠 近
壽 命 會上 遠近
堂幼 詠萱 永久 永劫 榮 裏 不
行 詠草 永久 去 榮 裏 不
敢 知 影 降 緣付 緣 誂 敵 奔 帝の御歳
敢知 影 降 緣付 談 敵 算
取 降 緣付 談 敵 算

日 系 江 海 埴 治 英 士 餌 利 餉
任 原 江 島 埴 治 英 士 餌 刺
柄 絲 綿 衣 脇 無 腸 菊 黒 雛
柄 綿 絹 衣 服 無 脂 嬰 兒 恵 能
煽 塵 蓬
煽 塵 蓬
永代 玉 釈 畏
永代 會 釋 曳
永 満 演 説 詠 吟 宴 杜 洲 魚 彩
圓 滿 演 説 詠 吟 宴 遊 洲 底
向 珠 勝 延 引 延 齢 榮 曜 榮 花
向 珠 勝 延 引 齢 榮 曜 花
彩 書 麺 衣 砕 砕 疫 疾 敵
顔 醉 眠 醒 疫 癘 敵
免 敵 関 敵 感 感 縁 紐 縁 辺
免 敵 関 敵 感 感 縁 紐 縁 辺

絃席（げんせき）　西湖文会（せいこぶんかい）　融（ゆう）　撰生（せんせい）　胎（たい）
繪席（かいせき）　艷（えん）　西行文圓（さいぎょうぶんえん）　融撰出（ゆうせんしゅつ）　胎（たい）
付宴樂（つけえんらく）　碎（さい）　狐（こ）　狎（こう）　梅門（ばいもん）　客（きゃく）　暑（しょ）
付宴樂（つけえんらく）　碎（さい）　狐（こ）　狎（こう）　梅門（ばいもん）　客（きゃく）　暑（しょ）
付宴樂（つけえんらく）　碎（さい）　狐（こ）　狎（こう）　梅門（ばいもん）　客（きゃく）　暑（しょ）
炎熱（えんねつ）　廠（しょう）　山（さん）　越中（えっちゅう）　前愛知川（まええちがわ）
炎熱（えんねつ）　廠（しょう）　山（さん）　越中（えっちゅう）　前愛知川（まええちがわ）
炎熱（えんねつ）　廠（しょう）　山（さん）　越中（えっちゅう）　前愛知川（まええちがわ）
柄香爐（えごうろ）　餌袋（えぶくろ）　圓壁（えんぺき）　會下傘（えげさん）
柄香爐（えごうろ）　餌袋（えぶくろ）　圓壁（えんぺき）　會下傘（えげさん）
柄香爐（えごうろ）　餌袋（えぶくろ）　圓壁（えんぺき）　會下傘（えげさん）
弘誓（ぐぜい）　雀鹹（すずきのしおから）　莟（つぼみ）　栗（くり）　名撰（めいせん）
弘誓（ぐぜい）　雀鹹（すずきのしおから）　莟（つぼみ）　栗（くり）　名撰（めいせん）
弘誓（ぐぜい）　雀鹹（すずきのしおから）　莟（つぼみ）　栗（くり）　名撰（めいせん）
鴛鴦（えんおう）　雀鮓（すずめずし）　莟（つぼみ）　栗（くり）　入（いり）　撰（せん）
出（しゅつ）　碎（さい）　狂（きょう）　俠（きょう）　髭（ひげ）　奠（てん）　式（しき）　講（こう）　十一月（じゅういちがつ）　圖（ず）
出（しゅつ）　碎（さい）　狂（きょう）　俠（きょう）　髭（ひげ）　奠（てん）　式（しき）　講（こう）　十一月（じゅういちがつ）　圖（ず）
出（しゅつ）　碎（さい）　狂（きょう）　俠（きょう）　髭（ひげ）　奠（てん）　式（しき）　講（こう）　十一月（じゅういちがつ）　圖（ず）
出（しゅつ）　酌（しゃく）　狂（きょう）　俠（きょう）　顛（てん）　倒（とう）　戎（じゅう）　講（こう）　闇（やみ）
魔王（まおう）　延（えん）　胡索（こさく）　肉刀紙（にくとうし）　增（ぞう）　壹（いち）　燒（しょう）
魔王（まおう）　延（えん）　胡索（こさく）　肉刀紙（にくとうし）　增（ぞう）　壹（いち）　燒（しょう）
魔王（まおう）　延（えん）　胡索（こさく）　肉刀紙（にくとうし）　增（ぞう）　壹（いち）　燒（しょう）
延（えん）　胡索（こさく）　肉刀紙（にくとうし）　增（ぞう）　壹（いち）　燒（しょう）
延（えん）　胡索（こさく）　肉刀紙（にくとうし）　增（ぞう）　壹（いち）　燒（しょう）
延（えん）　胡索（こさく）　肉刀紙（にくとうし）　增（ぞう）　壹（いち）　燒（しょう）
遠境（えんきょう）　門（もん）　刀（とう）　紙（し）　字（じ）　遠境（えんきょう）
遠境（えんきょう）　門（もん）　刀（とう）　紙（し）　字（じ）　遠境（えんきょう）
遠境（えんきょう）　門（もん）　刀（とう）　紙（し）　字（じ）　遠境（えんきょう）

龍膽（りんどう）　演述（えんじゅつ）　鐘（しょう）　漢（かん）　獻（けん）　離（はなれ）　繼（つぎ）　去（さる）　奈（なし）
龍膽（りんどう）　演述（えんじゅつ）　鐘（しょう）　漢（かん）　獻（けん）　離（はなれ）　繼（つぎ）　去（さる）　奈（なし）
龍膽（りんどう）　演述（えんじゅつ）　鐘（しょう）　漢（かん）　獻（けん）　離（はなれ）　繼（つぎ）　去（さる）　奈（なし）
龍膽（りんどう）　演述（えんじゅつ）　酔（すい）　漢（かん）　厭（えん）　離（はなれ）　拂（ほっす）　上圓（じょうえん）
寂（じゃく）　鳥帽子（えぼし）　親（しん）　延喜帝（えんぎてい）　圖浮（ずふ

榮花蔓菓魚 ハ部 俊行者

ひ

ひ一

日火檜樋飛非皮

卑賓 [字]比秘尾肥氷碑杯 [機]

ひ二

旭晞日干の籔其 [字]加 [字]晞干 [字]簸尋平隙引

挽本彈琴雫 [牛]畢 [振]蔡を曳 [松]鰭魚の鰭

挽彈弾 [字]彎牽惹曳鰭

雛卑下引氣秘事非時鄙雛

畳竿時日野比企人姫媛彦

置午時日野比企人姫媛彦

比丘脾膝悉脾胃比膚人の比丘脾膝髭髭脾骨皮膚

膝細美味櫃琵琶神菱莧萌

妻枕把蛭拂く 增同 [字]間杼 [白]瀦水地

妻枕把蛭狒

貧賓 寡宮 [名]の仁非器微志

貧品

意雨膚喩 [譬]喩 [譬]衾褄 [衣]の雛 [鳥]火笠

雨膚喩衾褄の雛火笠

廣比敞比良敞比良日田放 [丸]捨葉

廣敞比良日田放檜葉

羆 [熊]類 [顔]を癈 [病]邪 [病]僻童

羆類顔癈邪僻童

平開發披弘展博久

篤拾挫扣光低拠獨

浸捻撓漫捻燃冷飛札便宜

尾籠美麗微少肥満白眞

眞実若卑劣卑劣眞誹謗

員貧苦卑賤劣比興誹謗

批判軽俳諧悪歌悪洒悪

批判頻使徒弱悲歌涙

哀火疾披露披見披風筆之

哀火疾披露披見

閾筆

筆記眉同業班道班礼班

筆記眉目非業商

法秘蔵秘蜜秘傳必死至

法秘蔵蜜傳必死至

与日比日限日和日善日柄

与日比日限日和暮柄

日並日脚日影日向一重一

日並脚影向一重

間一尾東永氷廟庇器

間尾東永氷廟庇器

披岸桂垣桂改干潟旱魃平

彼岸檜垣皮干潟旱魃平

野捕捕垣廣国生聖比丘尼

野捕垣廣国生聖比丘尼

美男美女 醬豉 孫 廉 匹夫 妻
幾男 女 曾孫 日 脯 匹夫 非
人 皮肉 顙 左 睫 目 千 翼 千
人 皮肉 額 左 瞳 目 千 醬
物 猿 猴 鐵 筆 槃 提子 燒 鉢 鍬 鍜
猴 鐵 筆 槃 提子 燒 鉢
縲 黑 目 傘 史 除 大 笤 史
髭 籠 蚕 日 傘 火 鉢 火 燧 火
繩 史 箸 史 補 史 願 斗 漂 勢
繩 火 箸 火 掃 扇 斗 漂 勢
線 挑 蘇 尾 蓀 鶺 雛 雲 雀
絣 桃 鹿 尾 藥 鶺 雛 雲 雀
日 鼓 比 翼 鵆 虹 千 名 千
日 鼓 比 翼 鵆 虹 千 名 千

石 首 美 豹 [增] 墨 の 密
石 首 羊 豹 字 墨 の 密

拘 潜 偏 索 拍 糧 卑
拘 潜 偏 索 拍 糧 卑

神 の 斜 鶺 鴒 締 の 秀 投 講
神 の 斜 鶺 鴒 締 の 秀 投 講

投 筆 掌 名 書 美 贅 美
投 覧 葉 掌 名 書 美 質

乗 地 美 誰 美 名 美 服 卑 怯 卑
服 卑 怯

乳 脂 糸 脂 乾 脂 効 脂 番 脂 劇
氣 非 分 類 番 例

私 方 秘 薬 秘 別 秘 書 一 日 一
私 方 秘 薬 書 一 日

夜一人田一する一柄の一服布 微
夜 一 訴 す 柄 刀 幅 微

運 微笑 微力 日向 悪魅 疲労
運 笑 力 南 悲愁 疲勞

比 叡実 老 実地 実寿 実署 日
比 類貧家 地 ま 実 昏日

結 祝日 比日 次第 柄 経
待 視 比日 次 手 柄 軽

付 緑水 筆意 筆紙 秘佛 桝斗
付 臨水 筆意 紙 秘佛 斗

謝罪 依冒 旅館 氷室 慶間 事
謝 難便宜 飛 檜 氷室 慶間 事

地 常陸 後 未 日向
地 常陸 備前 後 肥 日向

据 踏 表 根 日吉 延 回 氷 足 実
据 路 彫 根 日 上 延 田 氷 上 実

素 実人 皮 膚 秘 結 婚 潤
童 人 皮 膚 秘 結 婚 潤

肚 腸 羽 毬 漏 紐 火 地 漆
肚 腊 銅 据 瓔 紐 火 地 漆

傘 火 撥 指 揮 帰 着 蓋 垣
傘 火 撥 揮 揮 帰 着 菱 垣

醗 干 鰯 干 鮹 干 鯛 干
醗 干 鰯 干 鮹 干 鯛 干

乾 魚 蕨 薬 参 捻 挽 拔
乾 魚 薬 薬 鹿 捻 挽 拔

稽 霜 罪 冈 悔 疼 提 挽
稽 霜 罪 冈 悔 疼 提 挽

岡（ひとつ）川（ひとつ）梨（ひとつ）秀（ひとつ）礫（ひとつ）拝（ひとつ）太（ひとつ）編（ひとつ）師（ひとつ）

闕（ひとつ）副（ひとつ）秀（ひとつ）磯（ひとつ）杯（ひとつ）太（ひとつ）偏（ひとつ）師（ひとつ）

控（ひとつ）等（ひとつ）表（ひとつ）裏（ひとつ）人（ひとつ）並（ひとつ）人（ひとつ）賀（ひとつ）詳（ひとつ）浅（ひとつ）

控（ひとつ）等（ひとつ）表（ひとつ）裏（ひとつ）人（ひとつ）並（ひとつ）人（ひとつ）賀（ひとつ）詳（ひとつ）議（ひとつ）

柏（ひとつ）子（ひとつ）之（ひとつ）貧（ひとつ）俊（ひとつ）私（ひとつ）肥（ひとつ）多（ひとつ）老（ひとつ）成（ひとつ）人（ひとつ）の

柏（ひとつ）子（ひとつ）久（ひとつ）敷（ひとつ）便（ひとつ）船（ひとつ）肥（ひとつ）立（ひとつ）老（ひとつ）成（ひとつ）

溺（ひとつ）籠（ひとつ）美（ひとつ）若（ひとつ）革（ひとつ）伏（ひとつ）貧（ひとつ）福（ひとつ）実（ひとつ）之（ひとつ）実（ひとつ）

微（ひとつ）弱（ひとつ）美（ひとつ）若（ひとつ）平（ひとつ）伏（ひとつ）貧（ひとつ）福（ひとつ）之（ひとつ）

窮（ひとつ）窶（ひとつ）経（ひとつ）帷（ひとつ）妻（ひとつ）遍（ひとつ）迫（ひとつ）遍（ひとつ）塞（ひとつ）遍（ひとつ）至（ひとつ）

窮（ひとつ）賤（ひとつ）僻（ひとつ）事（ひとつ）遍（ひとつ）迫（ひとつ）塞（ひとつ）至（ひとつ）

駆（ひとつ）乞（ひとつ）帳（ひとつ）場（ひとつ）引（ひとつ）込（ひとつ）引（ひとつ）込（ひとつ）張（ひとつ）秘（ひとつ）

駆（ひとつ）乞（ひとつ）遣（ひとつ）引（ひとつ）貨（ひとつ）込（ひとつ）張（ひとつ）秘（ひとつ）

曲（ひとつ）秘（ひとつ）筆（ひとつ）法（ひとつ）筆（ひとつ）癖（ひとつ）等（ひとつ）耕（ひとつ）病（ひとつ）気（ひとつ）

曲（ひとつ）秘（ひとつ）筆（ひとつ）法（ひとつ）筆（ひとつ）癖（ひとつ）等（ひとつ）耕（ひとつ）病（ひとつ）気（ひとつ）

病（ひとつ）苦（ひとつ）病（ひとつ）後（ひとつ）病（ひとつ）家（ひとつ）隊（ひとつ）入（ひとつ）混（ひとつ）物（ひとつ）空（ひとつ）

後（ひとつ）家（ひとつ）際（ひとつ）入（ひとつ）混（ひとつ）物（ひとつ）空（ひとつ）

股（ひとつ）乃（ひとつ）至（ひとつ）先（ひとつ）廉（ひとつ）

腹（ひとつ）一（ひとつ）道（ひとつ）場（ひとつ）度（ひとつ）先（ひとつ）廉（ひとつ）

一（ひとつ）籠（ひとつ）打（ひとつ）撲（ひとつ）一（ひとつ）組（ひとつ）投（ひとつ）一（ひとつ）発（ひとつ）一（ひとつ）

籠（ひとつ）打（ひとつ）撲（ひとつ）投（ひとつ）

探（ひとつ）一（ひとつ）箪（ひとつ）一（ひとつ）箱（ひとつ）一（ひとつ）艙（ひとつ）一（ひとつ）細（ひとつ）一（ひとつ）国（ひとつ）

探（ひとつ）串（ひとつ）箱（ひとつ）艙（ひとつ）細（ひとつ）国（ひとつ）

一（ひとつ）曲（ひとつ）一（ひとつ）筋（ひとつ）一（ひとつ）掉（ひとつ）一（ひとつ）柄（ひとつ）一（ひとつ）巻（ひとつ）

一（ひとつ）曲（ひとつ）一（ひとつ）筋（ひとつ）一（ひとつ）掉（ひとつ）一（ひとつ）柄（ひとつ）一（ひとつ）巻（ひとつ）

腰（ひとつ）一（ひとつ）振（ひとつ）一（ひとつ）剣（ひとつ）甲（ひとつ）一（ひとつ）埠（ひとつ）面（ひとつ）一（ひとつ）向（ひとつ）一（ひとつ）煙（ひとつ）

腰（ひとつ）振（ひとつ）刎（ひとつ）埠（ひとつ）向（ひとつ）煙（ひとつ）

一（ひとつ）艇（ひとつ）一（ひとつ）厳（ひとつ）一（ひとつ）冬（ひとつ）日（ひとつ）一（ひとつ）終（ひとつ）日（ひとつ）一（ひとつ）兵（ひとつ）

艇（ひとつ）一（ひとつ）厳（ひとつ）冬（ひとつ）日（ひとつ）終（ひとつ）日（ひとつ）兵（ひとつ）

歳（ひとつ）閘（ひとつ）畫（ひとつ）日（ひとつ）終（ひとつ）日（ひとつ）兵（ひとつ）

歳（ひとつ）閘（ひとつ）畫（ひとつ）日（ひとつ）終（ひとつ）日（ひとつ）兵（ひとつ）

庫(ひらうさ)牧方(ぼくほう)土方(どほう)廣澤(ひろさわ)姫君(ひめぎみ)
姫宮(ひめみや)曾祖父(そうそふ)曾祖母(そうそぼ)我宮(わがみや)
(きみ)曲禄(きょくろく)
脚獨身(きゃくどくしん)旅物師(りょぶつし)瞻百舎(せんひゃくしゃ)
胃虚(いきょ)直垂(ひたたれ)白衣大褽(びゃくえだいさん)賤冷飯(しれいはん)
冷麪(れいめん)冷汁(れいじる)食(しょく)絹糊(きぬのり)搶扇(そうせん)
子(こ)磨(すり)筆(ふで)兼(かね)継(つぎ)柄(え)杓(ひさご)皷(つづみ)皮(かわ)
子(こ)磨(すり)筆(ふで)兼(かね)継(つぎ)柄(え)杓(ひさご)雛(ひな)皮(かわ)
餐(さん)消(き)油(ゆ)梳(くし)
髪(かみ)附(つけ)油(あぶら)柊(ひいらぎ)葱(ねぎ)白(しろ)苣(ぢさ)石蕻(せんだいはぎ)肉(にく)

蕻(せんだいはぎ)菜(な)鼓(つづみ)子(こ)花(はな)鴻(こう)鵠(こうのとり)
背摔(せなかうち)才(さい)鼓(つづみ)子(こ)花(はな)鴻(こう)鵠(こうのとり)
白虎増(びゃっこぞう)松(まつ)栢(かしわ)礬(みょうばん)永(えい)鑿(のみ)
白虎増(びゃっこぞう)松(まつ)栢(かしわ)礬(みょうばん)水(すい)鑿(のみ)
冷(ひや)弘(ひろむ)揃(そろえる)撃(うつ)鮒(ふな)鞭(むち)
冷(ひや)弘(ひろむ)揃(そろえる)撃(うつ)鮒(ふな)鞭(むち)
梭(ひ)于(ゆき)混(こん)空(くう)痺(しびれ)微(かすか)若(もし)使書(つかいがき)
梭(ひ)于(ゆき)混(こん)空(くう)痺(しびれ)微(かすか)若(もし)使書(つかいがき)
筆(ふで)授(さずく)頭(かしら)跡(あと)談(だん)非常(ひじょう)
筆(ふで)授(さずく)頭(かしら)跡(あと)談(だん)非常(ひじょう)
悪人(あくにん)柄(がら)人(ひと)詭(いつわる)人(ひと)殺人(さつじん)雲(くも)雄耳(おおみみ)
悪人(あくにん)柄(がら)人(ひと)詭(いつわる)人(ひと)殺人(さつじん)雲(くも)雄耳(おおみみ)
悪中(あくちゅう)死(しぬ)紀(き)遥(はるか)裔(すえ)閃燦(せんさん)了(りょう)翌営(よくえい)
悪中(あくちゅう)死(しぬ)紀(き)遥(はるか)裔(すえ)閃燦(せんさん)了(りょう)翌営(よくえい)
裏中(うちじゅう)飛(とぶ)行(ぎょう)遥香(ようこう)閃燦(せんさん)了(りょう)翌営(よくえい)

鑄造 譯事 窓着 忽僧忽乞
鐫 事 貪者 僧必至與
忽然 忽定 忽滅 結跏 紐解 宝
物宝 人 前 掌急引替 漆
引紐 隻 為漫一 雙 一隻 一
組 隊 遣 瞬
入 一 兎 一 色 一 妻 一 羽 一 雞
花 色 聲 一 羽 群
一 漆 の 一 双 一 尺 一 本 一 疋 紙
漆 双 品 本 點
一 張 一 抱 抱 廣庭 日 濕 日 雷 張 紙
張 抱 廣庭 日 濕 日 雷 張 紙

發 抵 負 胛 曉 癟 瘡 白 痢 肘
髮 抵 負 胛 臓 癟 瘡 疱 白 痢 肘
若 者 人 魂 鬢 角 瞎 眼 久 松
若 者 人 魂 鬢 角 瞎 眼 久 松
多 坂 平 岡 姓 牽 牛 旻 天 妖 表 山
彦 坂 平 岡 氏 牽 牛 旻 天 妖 彦 山
姫 島 備 中 廣 高 廣 瀬 揚 離
姫 島 備 中 廣 高 島 瑞 揚 離
多 民 兵 士 戔 血 人 九 死
貧 道 民 兵 士 戔 血 人 死
寛 永 寛 膝 突 撥 北 蓑 織 離 軟
寛 頭 盧 膝 突 撥 軌 蓑 織 離 膨
平 緯 布 挽 茶 冷 酒 曳 千 鮹 の
平 緯 挽 茶 冷 酒 曳 千 鮹

肚饑 豆飯 脇食 扉風 廣蓋
肚饑畫飯脇食扉風廣蓋

網史 網書 本 經卷 錦毛 浚雅
网史網書本經卷錦毛浚雅

網 魚網 倍本 蛭卷 鶺毛 蜉蝣
网魚網倍本蛭卷鶺毛蜉蝣

蝶 百合 瓜烏 扇劍 金弋 盆
蝶百合瓜烏扇劍金弋盆

蠟 本

入

評 龍 風 驍 髮
評龍風驍髮

蠟 蹄 髮
蠟蹄髮

必定 平等 婆娑 剽輕 漂泊 人
必定平等婆娑剽輕漂泊人

評判 感長 病惱 病身 人
評判感長病惱病身人

繁兵法兵 丸 兵粮 辛者 笛簡
繁兵法兵丸兵粮辛者笛簡

繁兵法兵亂 粮畢 竟 笛 斎
繁兵法兵亂粮畢竟笛斎

苗胤 盃 比 敷 一 匹 一 條 一 陣
苗胤盃比敷一匹一條一陣

苗 鵜 無 比 類 頭 位 陣
苗鵜無比類頭位陣

一 抓 一 番 一 包 一 袋 一 抄 一
一抓一番一包一袋一抄一

抓 番 包 袋 抄
抓番包袋抄

箇 二 約 坤 椄 皮 葺 比 敷 山
箇二約坤椄皮葺比敷山

箇 行 坤 檜 皮 葺 比 敷 山
箇行坤檜皮葺比敷山

毘 沙 門 臏 膝 蓋 隠 曲 單 物
毘沙門臏膝蓋隠曲單物

毘 沙門 臏 膝 蓋 隠 曲 單 物
毘沙門臏膝蓋隠曲單物

緋 襖 緋 衣 緋 綿 綿 蓑 駈 飛
緋襖緋衣緋綿綿蓑駈飛

緋 袴 衣 縮 綿 菱 形 餅 飛
緋袴衣縮綿菱形餅飛

龍 尺 泥 取 天 折 木 挾 椰 子 白 檀
龍尺泥取天折木挾椰子白檀

龍 頭 界 尺 折 木 挾 椰 子 白 檀
龍頭界尺折木挾椰子白檀

拍 撰 女 眞 美 人 草 蚊 子 樹
拍撰女眞美人草蚊子樹

椰 槙 女 貞 美 人 草 蚊 子 樹
椰槙女貞美人草蚊子樹

灯蠟 蠟燭 日南地
提燭 日南地
向引出 向引出 被違除
引落 獨立 言抱膝張臂久
振火疾事厭逆曰豪病者
徐平仄 請喪進之 挽櫂一結一
躰平仄 喪進 挽櫂 結
莊一流一週一震 擯出在位
莊 流 週 震 擯出在位
尤佳引出物 跟踵海 雲雀
尤 佳 引出物 跟踵 海 雲雀

山一疾川統 日永川名一節截
山 夜 川 名 日 永 節 截
氷様 柱笠 非蔵人 白毫 白
氷様 柱笠 非蔵人 白毫 白
拂白蓋拍 杈火吹筒直胃燧
拂 白蓋 拍 杈火吹 筒直胃燧
石引合紙藤籠搖文訓車 飛馬
石 合 藤籠 搖文訓車 飛馬
始頻伽鳥蟾蜍火蛾壁銭表
始 頻伽鳥 蟾蜍 火蛾 壁銭表
抹茶酪酪茄物冷物一疾苧重
抹茶 酪酪 茄物 冷物一疾苧重
一重束 姫女桃氷室苧日影
一重束 姫女 桃氷室苧日影
重 姫 胡桃 氷室 日影

百草 百草 琵琶法師 火燵坂 信長

六ひ

曲 曲 汗形 汗形 詐定 詐定 柳 柳 一 一

魄 百姓 食指 白米 笑柄 百官 百官

比良嶽 比良嶽 比礼振山 比礼振山 飛 飛 比興 比興 未 未

練雷 練雷 戦翻然飛兵 戦翻然飛兵 術症 術症 比 比

翼連理 翼連理 測々 測々 鴨越 鴨越 鄙華洛 鄙華洛

谷風飛弾丸 谷風飛弾丸 費長坊 費長坊 比 比

七ひ

東来西来 東来西来 飛行自在 飛行自在

羊歩百万 羊歩百万 遍蛭児命 遍蛭児命

八ひ

鎧非翡翠 鎧非翡翠 髙都 髙都 廣 廣

庭都 庭都 比賣語曽社 比賣語曽社

一ふ

茂毛 茂毛 最摸 最摸 喪 喪

二ふ

持盛 持盛 物者 物者 捜本 捜本

首鶺摩 首鶺摩 猿 猿 于 于 張蝉彼岸 張蝉彼岸

七ひ

東来西来 東来西来 飛行自在 飛行自在

羊歩百万 羊歩百万 遍蛭児命 遍蛭児命

八ひ

鎧非翡翠 鎧非翡翠 髙都 髙都 廣 廣

庭都 庭都 比賣語曽社 比賣語曽社

一ふ

茂毛 茂毛 最摸 最摸 喪 喪

二ふ

持盛 持盛 物者 物者 捜本 捜本

元下の許扱李餅麩脱桃

振絡数紋紀疾痛母の（増）喪

振鴨数紋糸綬傳母

貧森杜漏若身屋母

貧森杜漏若身屋母

十又月の緋魚孫の（増）詣

十五日の緋魚孫の（誤）詣

中白言求需索以用悶

申白訴求需索以用悶

基庚嫌黄羅脫脫の

基庚嫌黄羅脫脫の

天方（誤）妖（増）萌設儲漏

天方（誤）妖（増）萌設儲漏

滅算構簀文字為

滅算構簀文字為

猫威名字宮中掃模虎落

猫威名字宮中掃模虎落

持基手百酬物怪猫氣

持基手百酬物怪猫氣

門流門戸主水（誤）弓屋庵

門流門戸主水（誤）弓屋庵

（増）門徒戸毛水守屋疱

（増）門徒戸毛水守屋疱

廖齋裾文羽木綿崩黄帽

廖齋裾文羽木綿崩黄帽

子莫卯赤醸簀艾紅葉

子莫卯赤醸簀艾紅葉

海雲藻魚（増）泄熟萌

海雲藻魚（誤）泄熟萌

遷 寓 庸 默 門下 蒙霧 遷 貢 庸默門下 蒙霧

蒙愚物又蒙古 外國 沒後百夜最 蒙愚物見

上毛利氏 上毛利 支 母持籠 亡 雞

双鮅 双鮅 改 左 諸 催 専 木 諸 催 二

或練憂 或練 憂 嚥 哲 元來若

又餐 又餐 持成猛勢 持成猛勢 諸友最安

毛吹羔昧 毛吹羔昧 絕膝 絕膝 知識默算 頭蒙昧悶 頭蒙昧悶

我我 妄 妄 妄想 妄 狀 忘 物 忌 然安念 然安念 想 執 沐浴物忌

物怪 問 答 問 封 勿 論 目 物怪 問答 問封勿論目 躰

緑 目 礼守 餅 搗 文才 文作 緑目 礼守 餅搗文才 作

文 言 文 言 亡 哭 亡 若 妄 文言文言亡哭亡若妄 段 言 亡 霊 者 無 段言亡霊者無

義道中華 守 山 物 部 望 月 門 義道中華守山物部望月門

跡門 主 弟 門 人 門 秀 弟 士 跡門主弟門人門秀弟士 跡 番 武 士 人

目代 盲 人 目代盲人 目代盲人 目代盲人 目代盲人 警 紋 紛 桃 警紋紛桃

弓 紅袴服 弓掛 凡諸白毛 髭
紅裙股 掛瓜諸白毛 髭

武具 髻 盛相 木魚刀 尺 秣
武具髻盛相木魚刀尺秣

糯米 木瓜 香 通 屑 〔増〕
糯米木瓜香通屑

風 求 脆 懦 純 脱 冗 出 問 訊
用求懦鈍脱最些問訊

門流 門生 門葉 門葉 前斎 潔物
門流門生門葉前斎潔物

忌 分 局 鬱然 朦 瞽 沒収 百度
忌分局鬱然朦瞽沒収百度

百 条 慈 岡 題 礼 回 論 回 簀 回
百条慈岡題礼回論回簀

惑 悶 點 礼 日 論 箪
惑悶點礼日論箪

糸 操 巡 操 立 操 出 拘 成 物 中
前標込 立 持 成 物 申

弁 自 従 来 素 守 岡 桃 井 園 桃 園
本自従来素守岡桃井園

桃 尾 物 加 波 森 川 蒙 帖 牧 溪
尾物加波森川蒙帖牧溪

同 連 木 工 寮 桃 尾 双 膝 執 針
日連木工寮桃尾双膝執針

炬 末 佛 末 像 毛 頴 絆 筈
燼末佛像毛頴絆筈

裁 刀 連 物 千 餅 搗 糯 花 紋
裁刀連物千餅搗糯花紋

紗 綾 服 佩 持 弓 筒 鎗 綟
紗綾服佩持弓筒鎗綟

擢 孕魚 文魚 木擣 木蓮 揖望魚 文魚 木擣 蓮

蘭 桂橘 蘭 桂橘 [人] 姫 文良 妾 姫 文良 才良 弄

寥落 妻涼 拘離 淺妻 涼持 寥落 凄涼 嘯 洩 閙申 度

兼物 詣物 拘語 物忘 沒着 兼物 詣語 思沒 着虎落

言門 徒宗 乞丐 徒宗 乞丐 [人] 袈裟 文綸子 綸子

諸手 綱綵 傘羊 諸手 綱綵 傘羊 躑躅 藻塩

茅百 多百 [字] 文釋 物狂 [人] 文釋 物狂 躑躅 草百 鳥 狂躁 懶

物忘 物凄 中悪 縫糸 拘妻 物忘 物凄 申置 縫糸 持弄 舞

忘物 凄妻 申置 縫糸 持弄 舞

忘学 問稜威 拘姫 拘淋 相

忘学 問稜威 拘姫 拘淋 相 憶念 學問 稜威 物姫 淋相

思悪 妻狂 人農 人物 臥木

思悪 前妻 狂人 農人 物頭 木

二臥 虎橋 宮上 川求 塚は 文

二臥 虎橋 宮上 川求 塚は 文 工 頭戻 橋 最上 川 木塚 文

司関 紀葉 山穀 把穀 篩紋 所

司関 門 紅葉 山 穀把 篩紋 所

拘取 妻愛 絡落 法悪 茶 百

拘取 妻愛 絡落 法悪 茶 百 持 取の 青鷹 鵙 落 諸葉 草 百

茶苺 紀葉 名産

茶苺 名産 紀葉 名産 夜 紀葉 鳥

拘扱 物蝕 [人] 拘扱 物蝕 苛扱 物蝕

物狂や 伸や 謝や 遠く迄
物狂申舎 伸 謝 遠以

外 難 恐心 増 悶惑 無勿体物
外難 恐心 字 悶惑 無勿体物

姿 振 縫物 手 同 往不 峯 春
敷 振 頻縫物 針 閊 住所 峯 吉

了 七 周 腹 帳 了 七 周腹帳

不知 毛 孔 本 顕 萩
不知 毛 頭本 顕 萩

施 世 瀬 畝 脊 是
施 世 瀬 畝 脊 是

増 墾 西 満 為
増 墾 西 満 為

二 贅 乞 鈬 羅 魚
二 贅 乞 鈬 羅 魚

切 音 雄 弊 耐 恙 世 翁 人 世 話
切 音 雄 弊 耐 恙 世 翁 人 世 話

節 姓 帰 盛 田 都
節 姓 帰 盛 田 都

鳩 世 事 是 非 節 會 雖 席 脊 戸
鳩 世 事 是 非 節 會 雖 席 脊 戸

漸 戸 弊 田 腦 忽 妾 雲 産 體
漸 戸 弊 田 腦 忽 妾 雲 産 體

瀬 戸 勢 田 膳 所 妾 吸 釜 體

猿 桜 白 灰 腦 芥 揮 増 妻
猿 桜 白 灰 腦 芥 揮 字 妻

銭 掛 白 灰 膳 井 蟬 夫 妻

制 聖 弊 馬 世 良 子 塞 鳩 水 音
制 聖 弊 馬 世 良 子 塞 鳩 水 音

制 聖 馬 世 良 千 塞 鳩 善

三 七 引 人 帯 を 狭 養 衣 表 改 迫 絢
三 七 引 人 帯 を 狭 養 衣 表 改 迫 絢

制 狭 顔 責 改 迫 約

捧 て 先 精 責 仙 儀 説 鑓 る 孔 方
捧 て 先 精 責 仙 儀 説 鑓 る 孔 方

捧 先 精 責 仙 儀 説 鑓 孔 方

樂。絶。令。饒益。不後。全部。會。
嘯。絶。今。饒益。前後全部會。

議。美而。爺負。遷化。絶句。詩。
議。責而。舂員。遷化。絶句。少。

刹那。之間。先考。先妣。祖父。物。施。
刹那。先度。爆。祖父物。

主。於餓鬼。施食。世界。世俗。世。
主。餓鬼。食世界。俗。

間。世事。世利。布施。善事。嚴。
間。世帶。利布施。句。季。嚴。

書。小路。渠川。世良田。名橋家。著。
書。小路。渠川。世良田。橋家。著。

暮。小路。瀨川。世良田。撰家。前。
暮。小路。瀨川。世良田。撰家。前。

句。少武。小児。疱瘡。撰。系。石碑。
司。少武。小児。疱瘡。撰。系。石碑。

書。礎切。羽。雪踏。前。胡。小麵。饅。善。
書。礎切。羽。雪踏。前。胡。小麵。饅。善。

事。通。窘。辱。前。世。著。逢。先。非。
事。通。窘。辱。前。世。著。逢。先。非。

淺。機。渉。禅。家。禅話。清話。制。
淺。機。渉。禅。家。禅話。清話。制。

止。著。疾。世。慈。悪。疱。施。薬。趙。薬。
止。著。疾。世。態。悪。座。施。米。施。藥。

制。詞。小。智。小。乳。誓。祖。先。
制。詞。小。智。小。乳。誓。祖。先。

師。淺。醫。勝。員。稼。名。著。乳。全。備。
師。陵。醫。勝。員。稱。業。精。氣。全。備。

戚施 尾蜂 先姚 禪師 膳夫
脊筋 脊痛 癰 舌瘤 関節 根瀬
尾妹 尾掉 掻漆 外麻 小豆 松露
制法 制禁 政乃 清濁 辨論
禁政道 清濁 辨論
於約 穿鑿 餞別 掻待 征伐 成
施行 穿鑿 餞別 掻待 征伐 成
攻切 腦髓 力 殺害 我功 淺深
敗切 腹 力 殺害 戰功 淺深
赤面 小產 全癒 子 万 粥 去 糟
赤面 小產 全癒 子 万 粥 去 糟
編 千 万 遊 去 糟

戚施 尾蜂 先姚 禪師 膳夫
歲始 尾蜂 先姚 禪師 膳夫
脊筋 脊痛 癰 舌瘤 関節 根瀬
脊 筋 脊 痛 舌 疽 関 節 根 瀬
尾妹 尾掉 掻漆 外麻 小豆 松露
尾妹 掻漆 外麻 小豆 松露
制法 制禁 政乃 清濁 辨論
制 禁 政 道 清 濁 辨 論
於約 穿鑿 餞別 掻待 征伐 成
施行 穿鑿 餞別 掻待 征伐 成
攻切 腦髓 力 殺害 我功 淺深
腦 力 殺 害 戰 功 淺 深
赤面 小產 全癒 子 万 粥 去 糟
赤 面 小 產 全 癒 子 万 粥 去 糟

根頑 學說 法昭 晤文 誓云
根頑 學說 法昭 晤文 誓云
少分 錢湯 煎 藥 折角
少 分 錢 湯 煎 藥 折 角
擂洗 濯洗 足 盛 全 捧 消 息
擂 洗 濯 洗 足 盛 全 捧 消 息
消滅 先 例 先 指 先 絢 先 陳 先
消 滅 先 例 先 格 先 約 先 陣 先
繰 先 日 先 刻 積 穢 惡 善 惡
繰 日 刻 積 穢 惡 善 惡
若根 水 垂 安 野 一 粥 く 遷 宮 糸
若 根 水 垂 安 野 一 粥 く 遷 宮 糸
根 野 要 斬 遷 宮 井
同基 妥詮 妥當 妥是 非 世 上 世
同 基 妥 詮 妥 當 妥 是 非 世 上 世
日 無 詮 無 節 是 非 世 上

利賣世智弁世諦仮世話役

弟代弟日弟載苔迫苔分晴

前代日裁節迫分晴

天仙洞書陽迫門口泉水剩

天仙洞書陽廻門口泉水剩

水腦棚禅宗雲源ヶ廂ヶ弼

水晴棚禅宗雪隠少輔弼

聖賢聖人仏人先生雪舟西禅

聖賢人仙先生雪舟禅

門清澗独者舩ヶ苔季候喝

門清僧拙者舩頭節季候喝

県石淋病精好赤飯善哉錆釜

息石淋精好赤飯善哉煎

餅菜薤書弼書陳出塗線香薬

餅紫蕨書鋤漆線香蒸

籠石墓石墻石竹ヶ苓摂橙

籠石墓塔竹川苓楠檜

鶺鴒[墻]憂・霞・弟霄弟功精

鶺鴒[字]憂雪前霄功精

潔籍く・潔く・弟表弟業全書

潔籍潮前表業全書

制表剞製薬・薬法先法先納誓

製剤薬・艘法先頂納誓

約・誓書おく・禅定・律律精力

約誓書少禅定律精力

精切精落精廉夕陽照見積

精切精落精廉夕陽照見積

若狭徳頂徳 絶頂絶祢 絶命
善 徳頑 絶頂躰
攻入 攻石 攻口 勝劣 勝敗 制
攻入 取口 勝劣 敗制
札戦書 我栗焼失 焼乞 子歳
札戦書 栗焼失 七千 歳
子秋蝉婿 制絶 征罰 征討 者
秋蝉婿 制作 征罰 征討 省
裂羅上 雑物 迫合 迫合 舌頭
裂羅上 雑物 迫合 舌頭
右耕制戒 黠盗説教 若業賊法
耕 戒精出 竊盗 説教 善
固若業賊法 消失 絶入 若
固 業賊法 消失 絶入 節

切く 当僧専念 引 話承
切 専 念 引 話

依憑悼昇進 重霜 重霜
伏憑悼昇進 鐘愛星霜

西戎芥河 切不汚泡書 眞心
西戎芥河 切所門陌書旦 正

朝星夕 仏深 城樓 関板
朝星 仏源 城樓 関板

関寺関寺 先帝先王 先君
寺 先帝 王 君

哲先哲先達 先考 聖王聖君
哲 輩 達 考 聖王 君

禅僧若通導 禅九 菟毒 仏墓
禅僧 善導 禅九 西堂 仏墓

仏石関は関山ふもとの本陣
石関口、山千手本
疝癪癖小便痛消産精
銭癪癖小豌痛消産精
神精血銭箱雪洞蝋本石筆
潔強刷毛洗米荊葵仏客
衛強刷毛洗米芹葵仙客
仏骨茱萸龍雪客参書客々楽
骨朱鷺雪客清客千葉
延胡索 又七
成長潜丿庵 肴略禅
延胡索 成長潜丿庵省略禅
宝誓願茶表経食食性銭場
定教願前表経食快戦場

改落穀生勢様勢強精出精
改落穀生勢様勢強精出
島撮政少納言 将前火茶
島撮政少納言 将前火茶
葉熬石菖増壁額紙鳳活
葉熬石菖増壁額紙鳳活
責使前生誠恐 惶不関吉
責使前生誠恐 惶不関吉
寂蓼先蹤仙術 境星舎
寂蓼先蹤仙術 境星舎
歳竟王小春清閑寺
歳竟王小春清閑寺

泉涌寺 漸湘八二編 辱者
泉涌寺 蒲相 正娥列 卒者

小腸 喫痢 康仏 乖乱 攻
小腸咳痢 康仏翁花 七四 攻

戒 無為方 正脉 悔先非十
戒無為方正脉悔先非十

秋樂 千歳 誓願寺 増 責
秋樂千歳誓願寺 増 責

而 已 証 来 切磋琢磨 吾 耕
而已証来 切磋琢磨吾耕

而事無詮 切磋琢磨吾耕

看 子 載 集 善光寺 伝 漱 石 小川 加
看子載集善光寺 伝 漱石 小川 加

者千載集善光寺 漱見小川

関 清水 汝 甘里 子 変 笑
関清水汝甘里子変 七四 笑

関清水汝甘里千疊敷

山子万 米代 未 詳 禪 院 清 涼
山子万米代未詳 禪院清涼

止千万 前代未聞 蟬 蛮 清 涼
止千万前代未聞蟬蛮清涼

殿 増 食 後 匿 不 詮 撰 釋 集
殿 増 食後匿不詮撰釋集

殿 字 食 儀 匿 所詮 撰釋集

仏 洞 御 所 八四 子 差 万 別 子 変
仏洞御所 八四 子差万別子変

仏洞御所 千差万別 変

成 敗 式 目 簫 簀
成敗式目 簫 簀

す 二十 須 粟 酢 酒 菓 す
す 二十 須 粟 酢 酒 菓 す

須 粟 酢 酒 菓
須 粟 酢 酒 菓

箕 竹 の 増 窠 穴 酸 味 素 す 二十 耕 漉 紙
箕竹の増 窠穴酸味素 す 二十 耕 漉 紙

箕 の 字 窠 酸 素 耕 漉
簀 サク

撓 好 空 透 吸 末 洗 清
梳 好 空 透 吸 末 濯 清

淑 住 人 栖 粋 筋 摺 助 余
淑 住 人 栖 粋 筋 摺 助 余

佐 亮 祐 住 瞻 裾 鈴 錫 炭
佐 亮 祐 住 膽 裾 鈴 錫 炭

墨 鋤 枚 茎 菅 雖 煤 角
墨 鋤 枚 茎 菅 雖 煤 角

隅 砂 沙 簀 戸 諏 訪 須 磨 擦 救
隅 砂 沙 簀 戸 諏 訪 須 磨 擦 救

度 数 寄 数 珠 す 沙 硏 磨
度 数 寄 数 珠 す 沙 硏 磨

和 下 罌 玉 葉 條 耆 好 雫
和 下 罌 玉 葉 條 耆 好 雫

耕 素 面 素 図 変 石 俊 す
耕 素 面 素 図 変 石 俊 す

述 突 隅 田 川 離 人 狂 者 汚 者
述 突 隅 田 川 離 人 狂 者 汚 者

次 賀 隅 田 陶 髄 推 従 者
次 賀 隅 田 陶 髄 推 従 者

播 柱 蘂
播 柱 蘂

三ノ丁

既 直 過 進
既 直 過 進

況 亟 走
況 亟 走

撰 捨 少 世 号 灌 雪
撰 捨 少 世 号 灌 雪

助 救 匕 汕 定 陶 居
助 救 匕 汕 定 陶 居

嘯 艘 感 窒 痩 攫 絋 縋
嘯 艘 感 窒 痩 攫 絋 縋

凍 涼 艘 総 都 而 樞 機 筋
凍 涼 艘 総 都 而 樞 機 筋

同 貧 朴 助 ㊀ 素 雲 ら 住 居 透
目 質 朴 助 手 素 寧 住 居 透
間 透 ㇀ ず 斗 ず 志 ず 眼 伽 強
間 与 寸 丰 志 眼 伽 強
水 波 人 義 徴 相 撲 数 通 数 篇 数
水 破 衰 微 相 撲 数 通 篇
数 数 盃 数 寄 屋 簀 子 巻 炭
数 盃 寄 屋 簀 子 巻 炭
槎 測 渓 測 漆 測 弁 洗 吹 田 数 ㊀ 篇 ㇀
槎 洲 濱 崎 本 吹 田 鈴 鹿
珍 本 陶 ㇀ 字 牙 人 男 牙 婆 女 婆 婆 既
木 陶 山 牙 人 婆 跣
後 鷹 素 襖 ㊀ 絢 漆 汁 酸 和
徒 層 素 襖 生 絢 漆 汁 酸 和

現 簾 砂 金 李 葦 落 革
硯 簾 砂 金 李 葦 落 革
変 蕨 枋 乱 條 ㊀ 簀 鰯 鰯 錻
黄 換 枋 氣 條 の 簀 鰯 鰯 鰡
㊀ 字
換 無 窄 耕 天 側 ㊀ 激 ㇀ 退 住 を
換 窄 耕 側 と 瀬 退
嬬 ㊀ 激 ㇀ 燻 ㊀ 絢 光 梶 人 の
嬬 激 燻 絢 洒 洗 堂 直 集 順 哉 小 微 光 掘
拡 荒 廣 裏 ㊀ 集 洗 技 錵
遊 荒 廣 裏 多 集 洗 鐘
塩 葬 の 素 礼 素 面 ㊀ 跋 ㊀ 陽 表
塩 卒 素 礼 面 助 手 跋 夢

陸奥 磐城 常陸 下野 上野 越後 佐渡 出羽 越中 越前 加賀 能登 信濃 美濃 飛騨 尾張 三河 遠江 駿河 伊豆 甲斐 相模 武蔵 安房 上総 下総 若狭 近江 丹波 但馬 因幡 伯耆 出雲 石見 隠岐 播磨 美作 備前 備中 備後 安芸 周防 長門 紀伊 淡路 阿波 讃岐 伊予 土佐 筑前 筑後 豊前 豊後 肥前 肥後 日向 大隅 薩摩 壱岐 対馬 島

陸奥 磐城 常陸 下野 上野 越後 佐渡 出羽 越中 越前 加賀 能登 信濃 美濃 飛騨 尾張 三河 遠江 駿河 伊豆 甲斐 相模 武蔵 安房 上総 下総 若狭 近江 丹波 但馬 因幡 伯耆 出雲 石見 隠岐 播磨 美作 備前 備中 備後 安芸 周防 長門 紀伊 淡路 阿波 讃岐 伊予 土佐 筑前 筑後 豊前 豊後 肥前 肥後 日向 大隅 薩摩 壱岐 対馬 島

厩窓（うまやまど）凄涼（せいりょう）勤道（きんどう）筋違（すじかい）す法（ほう）

厩（うまや）　蓼（たで）　妻（つま）　涼（すず）　筋道（すじみち）　違（ちが）す法（ほう）

すがすがす珍（めずら）す向（むか）す澁（しぶ）

分（ぶん）　珍（めずら）　白（しら）　陳（ふる）　煉（ねり）

採（とり）水練（みずねり）水扶（みずたすけ）妾（めかけ）妻（つま）矜持（きょうじ）扶持（ふじ）

掃（はき）水（みず）　練（ねり）　損（そこな）無（なき）素（もと）氣（き）捨（すて）扶持（ふじ）

居風呂（ふろ）住吉（すみよし）水神（すいじん）菅原（すがわら）皇（こう）

居風呂（ふろ）住吉（すみよし）　水神（すいじん）　菅原（すがわら）　皇（こう）

雑人（ざつにん）水主（かこ）水腫（みずばれ）噦（しゃっくり）咳（しわぶき）水干（すいかん）鈴（すず）

雑人（ざつにん）　水主（かこ）　腫（はれ）　噦（しゃっくり）　咳（しわぶき）　水干（すいかん）　鈴（すず）

麹（こうじ）枝焼（えだやき）稼（かせぎ）面瓜（しまうり）未（いまだ）産（さん）婦（ふ）

麹（こうじ）　枝（えだ）　焼（やき）　稼（かせぎ）　面瓜（しまうり）　未（いまだ）　産（さん）　婦（ふ）

懸（かけ）杉（すぎ）燵（たき）杉（すぎ）西瓜（すいか）未（いまだ）廣（ひろ）臆（おく）當（あたる）

懸（かけ）　杉（すぎ）　燵（たき）　杉（すぎ）　西瓜（すいか）　未（いまだ）　廣（ひろ）　臆（おく）　當（あたる）

杉原紙（すぎはらがみ）漉斗（こしき）水嚢（みずぶくろ）墨怨（すみうら）鉛筆（えんぴつ）

杉原（すぎはら）　紙（がみ）　漉斗（こしき）　水嚢（みずぶくろ）　墨怨（すみうら）　鉛（えん）　筆（ぴつ）

研床（とぎどこ）龜（かめ）鈴虫（すずむし）水牛（すいぎゅう）　増字

研（とぎ）　床（どこ）　龜（かめ）　鈴（すず）　虫（むし）　水牛（すいぎゅう）

研水（とぎみず）　龜（かめ）　泥（どろ）　龜（かめ）　鈴（すず）　水牛（すいぎゅう）

鷺（さぎ）蔭（かげ）迅（はや）後（あと）晴（はれ）酔眠（よいまなこ）

鷺（さぎ）　蔭（かげ）　迅（はや）　後（あと）　晴（はれ）　酔（よい）　眠（まなこ）

醉中（すいちゅう）醒冷（さめひえ）産業（さんぎょう）瑞兆（ずいちょう）推察（すいさつ）

醉（よい）　中（ちゅう）　醒（さめ）　冷（ひえ）　産（さん）　業（ぎょう）　瑞（ずい）　兆（ちょう）　推（すい）　察（さつ）

推参（すいさん）隨縁（ずいえん）逐食（ちくじき）

推（すい）　参（さん）　隨（ずい）　縁（えん）　逐（ちく）　食（じき）

向遠（むこう）疾人（しつにん）助勢（すけぜい）無詮（むせん）衰（すい）

向（むこう）　遠（とお）　疾（やまい）　助（すけ）　勢（ぜい）　無（なし）　詮（せん）　衰（すい）

凝（こり）裏老（ろうがん）顔（かお）福要助（ふくようすけ）太刀（たち）不（ず）

凝（こり）　裏（うら）　老（ろう）　顔（かお）　福（ふく）　要（よう）　助（すけ）　太（たち）　刀（がた）　不（ず）

陳（ふる）素（もと）猩吸（しょうきゅう）外物（がいぶつ）漁（すなどり）捕（とらえ）不愛清（ふあいせい）

陳（ふる）　素（もと）　猩（しょうじょう）　吸（すい）　外（がい）　物（もの）　漁（すなどり）　捕（とらえ）　不（ず）　愛（あい）　清（せい）

捲の五人重水難 水罕 氷透水
揖 無の人望水難 旱 憂

門 水乃 水論 水伯 水す 陰す 苔
門 道 論 伯 す 陰 善

推任 推舉 素子 隅田 垂乃
推任 叙 素手 隅 日直道

垂燒 源川 融寛 純友 乾兵
直燒 陳月 融寛 純友 隨兵

菅谷 著沼 於浦 炭竈 透垣
菅谷 沼 杉浦 炭竈 透垣

透廊 淨淚 双六 鑿 簗 簀 擬 著
廊 淨淚 双六 鑿 藤垂 擬 管

笠曲尺 雷盆 雷 盆 雷 本墨斗 隅赤
笠曲尺 雷盆 本墨斗 隅赤

素布子 硯 箱 書 硯 吸物 水
素布子 硯 錆 書 硯 吸物 水

圀水 奏 於 奥 鈴 鴨 寫 列 走
圀水 奏 鈴 鴨 寫 州 走

魚 鯣 を 燻 の 煤 竹 萱 茨 仁 藍
魚 鯣 煤竹 萱 茨仁 藍

出 須 畢 好 物 角 膝 揖 量
出 須 畢 好物 角 膝 揖 量

醉 狂 酬 酢 玲 瓏 素 媚 呑 酸
醉 狂 酬 酢 玲 瓏 素 媚 呑 酸

蹉 跼 未 方 番 蹉 陸 吹 忘 者
蹉 跼 未 方 垂 蹉 陸 順 意 者

角 力 徒 浪 人 水 晶 水 精 黄 明
角 力 徒 浪 人 水 晶 精 黄 明

膠擱粉薄。無冬。雀瓜。馬園莧。
膠擱粉薄（ハクヲ）　詠忽冬（ヒソカニフユ）　雀瓜（スヾメウリ）　馬莧（ヒユ）

蹴蹋（ケツタフ）　蹭蹬（サウトウ）　芸薙（ウンテイ）　妨絶（サマタケタユ）　線摸（センモ）　已往（スデニユク）
蹭蹬（サウトウ）　宕（タウ）　荒薙（クワウテイ）　妨絶（サマタケタユ）　臨渉（リンセフ）　已往（スデニユク）

嗜好。す尺。捜老。滑道。角田川。
嗜好（シカウ）す　尺（シヤク）　捜老（サウラウ）　滑道（クワツダウ）　角田川（スミダガハ）

嗜好（シカウ）す　尺（シヤク）　捜老（サウラウ）　滑道（クワツダウ）　角田川（スミダガハ）

硯匣。硯石。馬肝石。掘鑿。垂截。
硯匣（ケンカフ）　硯石（スヾリイシ）　馬肝石（メノウ）　掘鑿（ホリウガチ）　垂截（タレキル）

硯匣（ケンカフ）　硯石（スヾリイシ）　馬肝石（メノウ）　掘鑿（ホリウガチ）　垂截（タレキル）

透額。浣衣。角帽子。醉揚妃。
透額（スカシビタヒ）　浣衣（アラヒゴロモ）　角帽子（カクバウシ）　醉揚妃（ヨヒザメ）

透額（スカシビタヒ）　浣衣（アラヒゴロモ）　角帽子（カクバウシ）　醉揚妃（ヨヒザメ）

醉妃紅。藉。簾貝。
醉妃紅（スヒザメ）　藉（シク）　簾貝（ハマグリ）

醉妃紅（スヒザメ）　藉（シク）　簾貝（ハマグリ）

す　尚斜。
す　尚斜（ナヽメ）

す　尚斜（ナヽメ）

単衣。杉原。紙。烏帽子。
単衣（ヒトヘ）　杉原（スギハラ）　紙（カミ）　烏帽子（エボシ）

単衣（ヒトヘ）　杉原（スギハラ）　紙（カミ）　烏帽子（エボシ）

障子。双。い盤。水仙花。
障子（シヤウジ）　双（ソウ）　盤（ハチ）　水仙花（スヰセンクワ）

障子（シヤウジ）　双（ソウ）　盤（ハチ）　水仙花（スヰセンクワ）

氷室。醸。酸漿草。
氷室（ヒムロ）　醸（カモス）　酸漿（ホヽヅキ）　草（クサ）

氷室（ヒムロ）　醸（カモス）　酸漿（ホヽヅキ）　草（クサ）

増字　遠忘。教。
増字（ソウジ）　遠忘（ヲミナヘシ）　教（オシフ）

増字（ソウジ）　遠忘（ヲミナヘシ）　教（オシフ）

水青（ミヅアヲ）　草（クサ）　醜（ミニクシ）　擬（ナゾラフ）
遥道（ハルカナリ）　数年（スネン）

遥道（ハルカナリ）　数年（スネン）

功。淹。雲。雀。氷。鍵。
功（イサヲ）　淹（ヒサシ）　雲雀（ヒバリ）　氷鍵（ヒカギ）

徒（イタヅラニ）　雪（ユキ）　武者（ムシヤ）　水鬼（ミヅキ）　火（ヒ）　鍵（カギ）　典（テンジ）

功（イサヲ）　淹（ヒサシ）　雲雀（ヒバリ）　氷鍵（ヒカギ）

徒（イタヅラニ）　雪（ユキ）　武者（ムシヤ）　水鬼（ミヅキ）　火（ヒ）　鍵（カギ）　典（テンジ）

侍。旬。隨求陀羅尼。杉原紙。烏
侍旬（サブラヒ）　隨求陀羅尼（ズイグダラニ）　杉原紙（スギハラガミ）　烏（カラス）

侍旬（サブラヒ）　隨求陀羅尼（ズイグダラニ）　杉原紙（スギハラガミ）　烏（カラス）

帽子。
帽子（エボシ）

帽子（エボシ）

歎。魚。九。熟。菜。摘。花。
歎（ナゲク）　魚（ウヲ）　九（ココノツ）　熟（ウレ）　菜（ナ）　摘（ツム）　花（ハナ）

す　進
す　進（スヽム）

頻（シキリニ）　魚（ウヲ）　九（ココノツ）　熟（ウレ）　草（クサ）　摘（ツム）　花（ハナ）

退。折。采。払。醉狂人。双
退折（シリゾケ）　采（トリ）　払（ハラヒ）　醉狂人（ヱヒドレ）　双（ソウ）

退（シリゾケ）　折（ヲリ）　采（トリ）　払（ハラヒ）　醉狂人（ヱヒドレ）　双（ソウ）

退折（シリゾケ）　針峠（ハリタウゲ）　未払（ミハラヒ）　山酔（ヤマヱヒ）　狂人（キヤウジン）

六。賽。増字　す分。鈷。座。猫用。猫。
六賽（ロクサイ）　増字（ソウジ）　す分（スベキブン）　鈷座（コザ）　猫用（ネコヨウ）　猫（ネコ）

六賽（ロクサイ）　す分（スベキブン）　鈷座（コザ）　猫用（ネコヨウ）

六賽（ロクサイ）　す分（スベキブン）　鈷座（コザ）　猫用（ネコヨウ）　猫（ネコ）

す。眠尖。温湯。菊。陶工。繩墨。
す（ス）　眠尖（ネムリサス）　温湯（ユノミ）　菊（キク）　陶工（スヱモノシ）　繩墨（スミナハ）

す（ス）　眠尖（ネムリサス）　温湯（ユノミ）　菊（キク）　陶工（スヱモノシ）　繩墨（スミナハ）

糸双六石墨深掘策改革

糸双六石墨深掘策改革

すゞ屋熊紛れる別増陸徴

すゞ屋熊紛れる別増陸徴

寸善尺魔行為別字遍縁

寸善尺魔行為別字遍縁

芙蓉情す陰酔中八仙水火

芙蓉情す陰酔中八仙水火

氷炭清濁手合葉

氷炭清濁手合葉

九寸翠帳

紅閨數壱弐参肆伍陸漆捌

紅閨數壱弐参肆伍陸漆捌

弦拾百千万億 十一百一千一万一十万一百万一 小両

弦拾百千万億 十一百一千一万一十万一百万一 小両

玖拾百千万億 十一百一千一万一十万一百万一 數両

玖拾百千万億 十一百一千一万一十万一百万一 數両

文分厘毛糸忽微繊沙塵埃

文分厘毛糸忽微繊沙塵埃

寸分釐毫絲忽微繊沙塵埃

諸證文手形案文

一 拝啓申者当社鉄砲玉薬之儀

一 拝啓申者当社鉄砲玉薬之儀

弥御清栄之御事奉恐賀候扨

弥御清栄之御事奉恐賀候扨

此度何卒御用達申度奉願候

此度何卒御用達申度奉願候

実は先日渡来候諸品者

実は先日渡来候諸品者

若御気に入候はゞ何程にても

若御気に入候はゞ何程にても

其元様方へ差送り申度

其元様方へ差送り申度

者不取敢此段申入候

者不取敢此段申入候

不尽以上

不尽以上

門流之方法脈頂中写表仕中
途之血脈等仕末後之書写ヒ
高弟等揃葬祭施行仕ル
筑ヒ之ハ同名等ニ不及中候
尚書写申写表事
御公儀様江法度候ニ不及申
筋ニ候得共為御中写表仕ル
死亡之節ハ早速為出申
候ニ少茂懈怠仕間敷事
一
寺檀之儀ハ檀中写表ニ而撰ヒ申
写表ニ長病之煩ニ候共人
代ニ成申候共写表ニ而ハ
宗旨ニ候ヘ共他宗之寺

ニ而葬礼等仕間敷候
一
檀中之内ニ而他宗ニ成候人
方ヘ元来写之有之候ハヽ
其節之住寺ヘ為断可申候
一
余宗ヨリ来候共我宗ニ
帰依申候ハヽ少茂逆ひ申間
敷候尤右之通ニ候ハヽ
我宗ニ成候ハヽ
無差別我宗ニ仕候ハヽ
他宗ニ不仕候ハヽ早速為知可申候
一
後日葬礼之節ハ
何町
檀人 誰
人数 誰

仏座
何ら法度

一
人数の中者生国ゟ触れ知遣候
者有我ゝ法ゟ人ゝ立寄何仏の
来何仏の月我日近辺念何仏相
唱候ハゝ十の内九ハ念仏ニ
成ル也ゝ仏ハ念仏ハ念仏ハ
渡ゝ不遣ゝ残念ゝ後遣
ゝ人ゝ渡ゝ
入口ハ
通ゝ
ハ
ハ
ハ

おもて中ゟ奉公ニ参候者相対之外
他ゟ奉仕ニ来候ニ付先方ゟ証文ニ
我ホ請人相遣シ奉公ニ差出
請状取候筈

年号月日　　他所
　　請人　誰殿
　　誰殿

何方ニ
何奉公ニ

一　九ツ一礼ニ来ル筈

我ホ請人相ニ来候方ゟ証文ニ
先ホ主人ゟ請状ニ差出候ニ付
人ニ私類ニ而ハ無之候ハヽ九ツ
ゟ先ニ参候ニ付相断ニ
参候

一　他所ゟ請状ニ来候ハヽ
年号月日　　他所
　　九ツ人　誰殿

何方ニ
何ゟ助成

一　備家請状ニ来ル筆

他所ゟ請状ニ者住国ニ親類和睦成
者ニ付我ホ請人ニ相立候ニ付
若重キ不埒ニ而ハ無之候ハヽ
勝手ニ帰遣シ相済シ申ニ付
差出ス請人ゟ証文ニ仕ル家

一人用ニ名代ノ時ハ不苦為ニ
渡ニ付ニ名主方ヘ届ケ可申事

一御公儀様ヨリ法令ヲ破リ不人中ノ
ヨロ船ニ乗為ニ好勿論悪徒ニ
堵勝負事ニ遊興女ヲ扱ヒ候
ニ対シ手形ヲ取ル人集ヲ為ニ
号ニ依テ彼ノ人ニ類ニ一切ニ
泊ル事ヲ可申事

一宗旨ニ依テ代ノ何宗ノ何所ノ
寺旦那ニ紛ニ対ノ判ニ頂手
形ヲ人方ヘ取ル可申ノ人用ニ
ニ出ニ付ニ取ル代ノ何ノ

六ヶ敷ク不致ニ候ハヽ
為ニ候間明ニ届ケ可申ノ
中ニ候ハヽ旅人ノ住所
届ニ不ル為ニ候ハヽ
ニ為ニ候間ノ

年号月日

何ノ国
旅人
住所
名前

何ノ国
住所
名前

一ノ者ニ人何国ノ郡何村
通ニ
御関所ニ相違ニ

乗船差添之為後日仍如件

年号月日　　何町何町
　　惣代
　　惣代

備前中令之事

一　金何百両也　但金子判之

右義、兼用対備前中処実
正也、雖為金子、依為兼用
用銀何匁何分何厘之代銀
可致通用、若違背之輩有
之者、可為曲事、仍如件

年号月日　　何町何町
　　惣代
　　惣代

海上手形為後日備前焼文仍如件

年号月日　　惣主　惣代
　　請判　惣代

　　何屋
　　何蔵屋

一　売渡申家屋敷之事

一　何町何丁目何番地之間口何
間奥行何間敷地何百何拾何坪
乗処共今何百何拾何坪売渡申
永代売渡申実正也、但一軒
ニ付金何拾何両ニ付何坪之
割合ニ而代金幾程ニ而も売渡
可申候、為後日売渡証文仍而

一 此度於江戸表町役人
勤之者共心得
可申候儀様様申付候条
諸事不及申聞候共
無油断人改之儀
申付置候者共
及申聞候迄ニ者
有間敷候
若此上ニ
猥ケ間敷儀
有之候ハヽ
急度可申付候
寅三月日
江戸

八人組 江戸
八人組 江戸
寺社 江戸

仙石
何左馬助

一 建家之事
表ニ
裏ニ
但二階作 建具造作廷木
此石ニ日有秋ニ通り

在々御町家江戸屋敷支配地面
門我未借ニ不及候事
勝手ニ付新規一向取建之家
主地借人立会代金ニ而
相

宗旨違方ニ而ハ無之候ヘ共、此度ハ
代筆不残只今悦ニ而引取、外ニ
上ニ而ハ建家ニ而ハ有之候ヘ共、外の方ニ
故障中者無之候ニ付、万一ニ
中ニ而ハ加判ニ者無之候
双方明ニ而ハ無之候ニ付
中ニ而ハ為後日證文仍而
件

仲間
清兵衛
相談人 清七
年寄 清平

清兵衛

浜一札ニ而事

一、雲龍山我本像對面ニ而
筋有之ニ付
浄土宗ニ而ハ無之候ニ付
双方ニ而ハ合ハ不申
ニ而ハ無之候ニ付
ニ而ハ今更後悔ニ而ハ仕
候ニ而ハ相対ニ而ハ無之候
中ニ而ハ双方ニ而ハ承知不申
ハ我ニ而ハ無之候ニ付
ハ無之候ニ付
件

年号月日

両人 清平

堀人　淳平

淳庵

一

贄地進文之事

上畑何反何畝何十歩　字何
右之書何年何年貢之上納
文ハ弁右之畑当庵方ヘ贄地ヲ
渡シ何ノ月来何ノ何ノ日迄ニ
何ノ経備用ヲ処ニ正地ヲ上著
ノ年貢ニ倣ヒ当庵方ヘ可上納
ニ候ハヽ増加仕候我ホ方ヘ
動ヲ申間敷候尤相調ヒ返金ヲ取ニ
ハ右畑流地ヲ取ニ渡ヲ申ス
間敷ニ為後日仍如件

年号月日

何某縁辺村
堀庵借主　淳平

沈人　淳平
弁者　淳平
元者　淳平

何方ヘ民撰出人一切当庵方ヘ
申者有之ニ付加判ニ者ニ候
依何ノ月ノ日ニ当庵方ヘ
間敷ニ為後日仍如件

年号月日

何某縁辺村
堀庵借主　淳平

沈人　淳平
弁者　淳平
元者　淳平

右者売渡ス

一

売渡ス流地進文之事

上田何反何畝何歩　字何
右者売渡ス何年何ノ月ニ当庵方ヘ贄

仕、却後金如在被指用処ハ可申
遍借或後証文来候ハ、有在金ヲ以
山林ハ不及流仕却後十処等ニ而是
迄ニ不済分并貢米等ハ納メ補
加ヘ候貴殿方ニ而勘定致右両
分外一切掛合ハ無之候為後証
十番ニ而如此ニ候 以上
文政十亥年 貴殿
文政十亥年 為後日如件
年号月日
仲村 注文
久組 注文
年番 注文
庄屋 注文

仲之亜筆

両親ニ養育ニ預リ候小児ニ而
候ニ付流仕候処不思議ニ一仕
舞不申両親養育ニ預リ候ニ而
元服迄ハ不届ニ候

永預候ニ付
家内ニ而
仲之亜

一
仲之亜十番証文ニ付我
等共家内ニ而毎度取扱
何所迄も同伴ニ而
表向ハ我等ニ而
有之候ニ付
怒等ニ而

書人方へ相渡し申すべき事

一 宗旨の儀、代々仏の宗旨の仏門何寺旦那に紛れ無き旨、宗旨手形、則ち請人方より取るべき事

右之通り急度証文申し入れ候処、仍て如件

年号月日

証人 誰々印

請人 誰々印

先方人組中

金子借用の事

仍て請状

他国へ参り候節、急度証文差し出すべく候、為念

右之通り証文を以て申し入れ候

年号月日

誰々印

請状の事

一 何町誰一同仏の御掟に背き、勝手に相動き、処払いに相成り候節、一切公儀へ申し上げ候ても、不及申

町役人初め組合の者共一統立合
左様之趣人別帳ニ書加へ差出
候様可致候尤右之者共
宗旨之儀ハ是迄之通
宗旨人別帳ニ記載可致候
一
宗旨人別帳ニ何宗何寺旦那
と書加へ候儀ハ
御法度ニ候
一
右之通被
仰渡奉畏候
何町
何之助
何之助

許候付ては組合之者共
連印を以願出候ハヽ
勿論之事ニ候
一
何町
何之助
何之助
何之助

壱ヶ所代金千五百疋ニ而売渡シ申候
処方ニ売渡シ候訳無御座候代
金之内為手附金千疋売渡シ
候節ニ者五合増渡シ候筈処
正金ニ而者何ヶ月ニ而も可限
候ニ付残金ハ売渡シ之後ニ為
持越都而売主ニ対シ異儀
申間敷候ニ付為後日
証文仍而如件

弁済月日

売主
何屋
何兵衛

仲間
何右衛門

おゐて済書文

一別紙証文之通売主ニ而
利金定一札之事

一別紙証文之通売主ニ而利金等
之義済候上ハ我々共方ニ取入
置候書付何ニ而も売主江相渡
申間敷候ニ付為後日
証文仍而如件

弁済月日

売主
何屋
何兵衛

仲間
何右衛門

何屋
何ノ誰殿

年賦滞納金
入金申渡文言

一金何拾両也

但利足何程

但内何程ハ元来ノ何ノ何月迄何年賦ノ
年賦ノ内ニ滞納ノ分ニ而元金滞方利足ノ
ミ納ノ分ニ

右之通リ今般御用ニ付
一旦返納致候ニ付書面之通
急度返済可申候万一滞方相滞
候ハヽ其節ハ何程ニ而も
訴ニ及ハヽ一言之申分無之

万一不人情ニ滞方ニ付訴訟ニ及
候節ハ

年号月日

何屋
何誰殿

何屋
何誰殿

乍恐以書付奉申上候

一金何拾両也

但利足何程

右者先達而被遣候年賦金之内
滞方ニ付何屋何誰殿ヲ以
元組合ニ而証文取置候処
今般御用ニ付急ニ相遣
候ニ付

年号月日

何屋
何誰殿

大坂伝馬町
何屋
清兵衛

何ノ
何国
何左衛門殿

未済入借用之事

一金何拾両

右之我ホ家業仕要用ニ付所
持之何ホ未何ホ之儀何町何屋清
方ニ而入用ニ付キ元利返済仕候筈ニ而
中処実ニ而返済ニ候ハヽ何ホノ何国
何ホ未ノ年ニ何ホ之何ホノ通
ニ而相違無之候ハヽ返済ニ而
致ス可キ為ノ門之ニ而相渡ス証文
如件

年号月日

清兵衛

何ホ之助殿

時候之節ニ付キ何ホ之何ホノ何国
方ニ而預リ置キ候所ニ而何ホ之何ホ
一言ニ而預リ置キ候ニ而無相違
證文之通リ相渡ス如件

年号月日

清兵衛

何ホ之助殿

一金何百両也

右之谷方へ進ミ致候ニ付、清水代
合滞高之外不処我水候ニ付、
不申、高ニ応シ出勤之事ニ候間、
其旨ニ候、
一我水ニ付、高ニ応シ
有物不残取上ケ、
出願之上、勤向ニ
応シ、
米麦味噌ニ而
渡ス筈ニ候、
一我水ニ付、
別紙ニ高ニ
応シ、
一我水ニ付、
波当谷方へ
引越候ニ
付、
一我水ニ付、
谷方へ
引越候ニ
付、
一我水ニ付、
谷方へ
引越候ニ
付、
一我水ニ付、

今子仙桂老之事ハ右件ニ委細之
上ハお義遠慮ニ及ハ不申候
猶期後音候
恐惶謹言

年月日　　又浄

一　書状之事
一　札之事

貴答之趣ハ承知仕候
月番之儀先日渡置候通
我等方ニ而ハ中納言様ニ
外ニハ御用無之候
御同前ニ候
恐惶謹言

年月日　　浄

一　書状之事
一　札之事

一　先度御申入候儀ニ付
委細為清閑斎
口上ニ申入候
恐惶謹言

年月日　　浄

一　書状之事
一　札之事

一　先度御申入候儀ニ付委細
為清閑斎口上ニ申入候
恐惶謹言

年月日　　浄

告女先文之事

告女先文之事一

本多播磨守殿今般我等方ゟ告
女共儀ニ付御先祖之儀ニ我等実
子ニ候ハヽ可申分無之候得共
勿論甥ニ長之上ニ而女ニ候ハヽ
養子ニ致候儀ニ付而ハ不及申
候ニ付告女之儀ニ付御先祖之
儀ニ我等ゟ申分無之候間其御
心得可被成候以上

十月日

本多播磨守殿

告女先文

入墨ニ付一札之事一

一 告女儀ニ付本多播磨守殿ゟ
御申越之趣承届候ニ付而ハ
告女儀ニ付御先祖之儀ニ
付而ハ我等ゟ申分無之候
然ル上ハ告女儀ニ付而ハ
御領分ニ而ハ何ニ而も
御勝手次第ニ可被成候
尤入墨之儀ニ付而ハ
御領分之御法度ニ
候ハヽ入墨之儀ニ付
而ハ我等ゟ申分無
之候以上

年号月日

武家方備用読文

備用中一令之事

一令　何の要事

右之通今般何之守秘要用候
備用中御定之通相心得可申候
何の要用何程之事に而も令
不申令違背之族者速可申付候

年号月日　何姓諱下
何の門諱下
何の官名下

何の屋
何衆の屋

家僕證文之事

何之町通何の丁目何屋何之誰家屋
敷并何家蔵物何の格子戸幷
前但し雨戸共東藩へ何屋何の藏迄
藩何屋敷明渡可申候為
何之通令何百両家僕受人判
重手形藩へ御渡之処也仍
右判令之月何の如し

年号月日　何姓諱下
相渡之役所
何の官名下

家僕證文之事

何之町通何の丁目何屋何之誰家屋
敷并何家蔵物何の格子戸幷
前但し雨戸共東藩へ何屋何の藏迄
藩何屋敷明渡可申候為
何之通令何百両家僕受人判
重手形藩へ御渡之処也仍
右判令之月何の如し

年号月日　何姓諱下
相渡之役所
何の官名下

家僕證文之事

何之町通何の丁目何屋何之誰家屋
敷并何家蔵物何の格子戸幷
前但し雨戸共東藩へ何屋何の藏迄
藩何屋敷明渡可申候為
何之通令何百両家僕受人判
重手形藩へ御渡之処也仍
右判令之月何の如し

年号月日　何姓諱下
相渡之役所
何の官名下

年号月日　　侯王　何家雑下

一　大紙一　何屋雑下

一　何屋雑下

年号　何屋雑下

侯王　何家の殿

一　将軍元信等　二幅対

一　奏上の進文一重

右能　中書先人　古物

右筆仰未終礼状認

右ハ進物之奏答仰奏後則

代答懸雑掌処へ可申候　以上

年号月日　　侯王　雑下

道具対之御状披見申候

懸物箱蓋裏ニ札可申候

遅仰候　其元御秘蔵之間

文ハ為後日書之進文仍件

年号月日　　侯王　雑下

何某　何右の殿

一　不通者手一札

一　年号月日手何某年中手為指

代答何指文之相添之及何屋仁

手渡候附奏之仍状如件不通事候

以処要之時且不答手遣候也

一札仍如件

何郡何村
寅ノ年ノ月日　　差入　　請人　　何某

一喧嘩口論之事

一何事ニ而も喧嘩口論仕候ハヽ相互ニ
無仕訳ニ而ハ双方ニ而も急度曲事ニ
可被仰付候事

一喧嘩口論之節ハ理非ニ不及双方共
ニ手錠可申付事

一喧嘩口論ニ付人を殺し候ハヽ下手人
ニ者勿論ニ候得共殺候ニ至候迄之
手筋ニ拘り候者ハ不残曲事ニ可被
仰付候事

一喧嘩口論ニ付殺害ニ及候ハヽ其
町中ハ不及申隣町迄も過怠ニ
可被仰付候事

一喧嘩口論ニ付殺害ニ及候ハヽ
其場ニ有合候者ハ不及申
其場ニ無之候共其
人ニ対し申訳無之候
ハヽ曲事ニ可被
仰付候

請人　何某

乳母奉公人請状之事

一 何十女養何仁何之年令拾弐
何女二季仕名五何之年令拾弐
何女乳母奉公ニ仕候ニ付而
何方ニ而も
何仁ニ而も
何ニ而も
何ニ而も
何

来ル何日何時何方へ参上仕候間
心得之為ニ申入候以上
何月何日　何町何某
何殿

人宿状之事

一　荷物送り状
　　覚
　　何某
一　壱人　何年
　　何町何某
　　何殿

右之者何月何日何時何方へ参上仕候間何某へ御渡可被下候

右之通相違無御座候　以上
何月何日　何町何某
何殿

一　人宿中者共ニ被申談候趣承知奉存候
　　何某
　　何殿

右之通相違無御座候　以上
何月何日　何町何某
何殿

一　人宿中者共ニ被申談候趣承知奉存候
　　何某
　　何殿

右之通相違無御座候　以上
何月何日　何町何某
何殿

一　店請状之事

一　人宿中者共ニ被申談候趣承知奉存候
　　何某
　　何殿

右之通相違無御座候　以上
何月何日　何町何某
何殿

一　人宿中者共ニ被申談候趣承知奉存候
　　何某
　　何殿

右之通相違無御座候　以上
何月何日　何町何某
何殿

一　人宿中者共ニ被申談候趣承知奉存候
　　何某
　　何殿

右之通相違無御座候　以上
何月何日　何町何某
何殿

一　人宿中者共ニ被申談候趣承知奉存候
　　何某
　　何殿

右之通相違無御座候　以上
何月何日　何町何某
何殿

一　人宿中者共ニ被申談候趣承知奉存候
　　何某
　　何殿

右之通相違無御座候　以上
何月何日　何町何某
何殿

出勤定可仕候、尤用事之節、何時ニ而も
早速為罷出候様ニ可申渡候、
右之趣申渡候事

一
御代官御取立之節、百姓共ニ対し
無礼之儀有之候ハヽ、
御領主様へ相願可申候、
若名主ニ而も差押候ハヽ、
組合之者共ニ而訴出候ハヽ、
吟味之上急度可申付候、
右之趣申渡候事

一
宗門改之儀、何寺ニ而も何院ニ而も
那紛無之寺ニ而相改、
請人方ニ而
証文取之事

一
右之外、百姓共ニ而不埒之儀
仕間敷候、
若心得違之者有之候ハヽ、
組合之者共ニ而急度異見
加へ、
無用捨訴出可申候、
万一異見仕候ニ而も
用捨仕候ハヽ、
其者ハ勿論、
組合之者共迄
可為曲事候、
右之趣、
御領主様ニ而
被仰渡候間、
急度相守可申候、
為後日
請状仍而如件

年号月日　　何郡何村何百姓
　　請人　　何某
　　家主　　何某
　　店借之　　何某

御奉行様

一 金何百両
右之金子差上申候処実正也
後日金性違等無御座候
為念一札如件

年号月日　何屋誰印
何某殿

覚

一 金何百両
右之金子慥ニ請取申処実正也
後日ニ為用差出申一札如件

年号月日　何屋誰印

何屋何某殿

覚

一 何反何村何屋誰分金子入書
状壱通慥ニ頂戴仕候

以上

年号月日　何屋誰印

何某殿

覚

一 紙包　　苞一

右之何反何村之渋何屋誰へ届物頼入

年号月日　何屋誰印

何屋何某殿

雖遠九十八里之
文月日　　何屋清右
　　飛脚屋
　　何屋清吉

仕来手形之事

一何之清右衛門老母之儀何國何郡何
村何之寺旦那雖遠國之儀ニ候共日牟
尼之三拜忠中ニ而ニ
御国所之飛脚遣ニ通候ニ而ニ
仕者和相煩候何之ニ而ニ成相果候ニ而
ニ而ニ無之ニ而ニ候ニ方ニ而ニ
及不申ニ家内之ニ代何ニ而ニ
切支丹ニ而ニ

遣候時ニ仕来ニ而ニ外ニ代者ニ有ニ
六ニ文候ニ而ニ仕来ニ候ニ而ニ
ニ而ニ忠ニ意ニ及時ニ而ニ
手形仍而件

年号
月日　　何之何郡何村
　　親　　清右衛門
　　同村
　　親類
　　本人　　何兵衛

御社
御寺中

暦の略解

○上段十干の事

十干十二支いろ〳〵大抵ことの人人北斗星の運動をそなぞらへ初めてきそを對ほ十八枚の名なり是ち天の教ホ人干八幹なり强とこゝろもホの太き木ホさきへりの如く木の幹なり十二枚の枝ホ〳〵支八枝なりしたゝを動てやより十干と十二支八天ホ配〳〵十二支八枝ホ配をきゝこゝ八干支八天化造化せ根本ホて陰陽ホてゝこゝ八十干を陽とう十二支を陰とゝ陽ホ水陰ホ水陰あり陰中ホ陽あり甲丙戊庚壬八陽なり又乙丁己辛癸を陰なりうまと陽中の陰又干日裏外辰巳陽なりうまと陰中の陽とゝ木ホ未申酉戌支八陰なり陰中の陰とゝ干と支とおなじうまさ陰ホ本ホ枝のあるごとく二ツの枝合て天化の用をあらはもと幹ホ配をきゝ甲乙八春の干丙丁八夏の干戊己八土用の干庚辛八秋の干壬癸八冬の干なり十二支ハ正月寅ホ配〳〵月を四ホ配八干支を合して年と月を守る

○同十二支の事

十二支八天の五行ホ八十二支八枝の八ホなり十干ホ陰陽あり

子水　丑土　寅木　卯木　辰土　巳火
午火　未土　申金　酉金　戌土　亥水

木ホ金水の三ツハものゝ陰陽二ツ有て土のこゝに陽を立ゝ陰ホ表ホ裏ホあり枝の五行十二ホ分ハ元を天の十二宮の引符を用ゐ〳〵なり元ホ十二舎ホ配當ゝ一宮ゝホ二舎ゝうまとの月正數ホ同符の舎數を依用〳〵なりその内正數ホあるうまの十二あり

子鼠　丑牛　寅虎　卯兎　辰龍　巳蛇
午馬　未羊　申猿　酉鶏　戌犬　亥猪

右天猪元り薬師の十二神ホなりうまのそ〳〵うまのへいも實ハ十の名なり

○中段十二直の支

俗ホ暦の中段ホ十二直ゝうまの支十二客ゝうま

以て事ふもつぐ十干に天干り十二支に地干り
十二直に人干り奴不月一建を寅の日不吉の係ハ
人を害不ばるしの義をしまて寅を建し一卯を除し
凡て正月ハ寅の月ゐるこゝ寅を建し一卯を除し
一辰の日成ハ巳を建し午の日を除し未ハ申を
酉ハ戌ハ亥日ハ子を建し丑の日を除し寅ハ卯を
辰ハ巳日ハ午を建し未ハ申日ハ酉を建し戌ハ亥
日ハ子を建し丑の日を除し寅ハ卯を辰ハ巳日ハ午を
建し未ハ申日ハ酉を建し戌ハ亥

べからざるの城めし初むべし

危　平除に六七日の相殺久く旅路の水久
　　しく其の安険をこゝに看るべし危き処
　　久しく家造婚礼葬祭吉凶速神祭吉
　　右日なり高き小丘なるべし

成　其の日は天の気を応じて徒の心を泥郷して
　　万の成就する日なる故成し事久く移造
　　婚礼入学出行技術開業吉
　　右日なり

納　其の日は天華蓋雨水物を収むる日なり故
　　吉納し事久く入学婚礼教導技術方
　　の物を習い納むる吉日なり葬礼出行よろ
　　吉日なり

開　其の日は天帝使者をつかわして険き道を開
　　き諸道を通ずる日なり故人開くし事久
　　く婚姻を結ぶに出行よろし一下人を抱へ
　　べく婚礼庸開吉
　　右日なり葬祭その外吉事の
　　下に用ゆべからず

閉　其の日は天祝祚陽閉塞しめて祚陽の
　　気をとじ込むる日なり故閉ざす事久く悪

をきらう死気を閉め穴をふさぐ墓をつくる等よろし
用ゆべからずその外万のあしき用ゆべからざる
日なり慎しむべし

○土公神の表

春は竈　夏は門と
秋は井　冬は庭

土公神は地下に在て守る神なるゆえに一般の
まつるなり都鄙ともに竈を土公神と称り
の他祭祀も皆竈神とも荒神とも申せり
殊に極悪の神ゆえ五穀百菜土の性ある
らゆる事なすべからず慎むべし人家のほとりを掘つもひこ
土の場合ばかりの表右のごとく記すべし

○天一天上の表

天一神は天上に昇りの八日より則ち地星の霊なり
その後十日は地神にまかり天一天上の日は
神地を守るゆえの神人家の表小仮をほかし天一天
上十六日ゆえ表門を打除して造作ふさべし
表をふさがずとも造作もよろしと忘べし天一神祭の
己の日は天上一戌申辻十六日天ふさがり己の日天
一神の方位除るべし積荷鷹狩り初むるを忌

くばしもべ一巳酉の日より下男へ申り酉に日け
乃ほ方をはらふものかぶを向ひて神を拝せべからず折ふし
産婦へ向へバ死せるものゝ如し忌と慎むべし

○社日の支

二月八月二度あり磨ぎおくバ二月を春社といひ八月
を秋社といひ田の神五穀の神を祭る同志の人ゝ
集会して酔てうたひ詩文かきくらべそう春社
日は春まおんなバ秋の社日は秋まおんなを汎代の
日と本るといへども我門中でい野社構ふでい春ハ杜
祭りに夜い参るでい野社ト稲神をまつるこ拵ふ
詩でい連歌の友を結ぶを俗に糸社しのつも社日集会
まる唐生の説ふるべし〳〵

○八専の支

八専ハ六ゝ十二月の内ふ比れ一ゝ本と木水と水ま
るハ八日ゝり秋ふ八日ふるゝの土子日の癸亥日まで
十二日のふをハ専ふゝの中丙辰午壬戌癸巳
この七日ハ万日ゝゝ悪比れをきる日故ぢり

○十方暮の支

十方暮ハ十干ゝ十二支の五行ゝ相克まる事ぢり
八専の裏ふて甲申の日ふ癸巳日まで十日のふを

十方暮ゝのハ十干十二支暗ぢゝ陰陽の孰れ合ゝ
ざる日ぢりゝゝハ甲水申金巳金亥水ぢり又癸
巳大昆水克火ぢりゝゝ八日まで相克ハゝ丙
戊土巳火生土ゝ相生ゝ己土巳を土剋ふ少ゝ十
日の間ふふ二日相克せべらゝでも易まゝ平ぢる
日ふハゝゝゝ陰陽の五行の時候ふまゝべき事ふ用
ゝるゝ戒ふべし〳〵

○彼岸の支

彼岸ゝ春秋の彼ゝ一日ふあゝゝ秋ふ春分の日
ふ当ハがんを祝ふべし俳諧ぢり言ふべし一説ぢり
彼極楽の岸ふ至ふさしの義を執ゝ彼岸ゝゝ祝ふ
ふてゝぢりふの時候ハ天ふ和順ゝ八風秩序ゝ分
明ゝ万人陳ふゝゝ心ふ仏の境をりふけ慈
悲心を勤る歟化の一ぢふこハ専ふ春ふ二月節ぢり十一日ふを彼岸の
着ハゝゝ春ゝ二月節ぢり十一日ふを彼岸の
入ゝ秋ゝ八月の節ぢり十五日ふを入ゝ各七日ぢゝ之

○社の支

玉垂ぢり八十八日目ぢり世ふ余波雪とも別ふの
箱ゝもいてふの節ふいりて降止ゝゝまゝ八十
八を茶の字のかゝらるゝゝ農ふ忙ふハの日蒔付を

皆こゝに伸縮をもちゐ殊更あの日と祝ひあらんずる日数両の節うるべきなり

○半夏生のこと

半夏生は五月中より千一日目ぐらゐ蜜柑の半夏の香けしを割ふまず夏ごろの草あの節梨白くうるふ洗濯すそる頃を海んとを定めて故代目黒女支今いふ赤飯を食せん事なとを悟を納候の事東あらまほしく候

○入梅出梅の変

入梅の候あらくしの日を成正候と勘ふかくる今の暦は本草綱目の候を用ひ五月節の後指め土の日を入梅一一六月の節の後壬の日を終くんぬる後三十一日あふ明うるうの節梅の実熟そるをもつて梅雨と号くまうふあの頃の雨小物ごろ濯さん物ふ徹雨しもはゞ扱るふ也ほふ純陽昇り極り六頃ふ徹雨しも変化一ひおるうるうて降る毛陽指て陰生ぜ候天地自然のことわりてく梅ふるうく乾ふ入梅うるうしも名将夏ふの名ハ地小雨湿行るの時候うれび物ごろか徹を生もそ人の子ふも湿れの病を愛ざる梅雨小徹ごほりのふ梅のやうに書せまもちゐ

栗を煮下その汁ふて洗ふ落うるのうり

○土用の変

土用ハ時に旨六十五日有余を指ふまるの内ハ各九十一日あり内の内十八日二十六刻ハ土元土の土用ふ残る七十二日五刻りを春木夏火秋金冬水ふ配分て土ふ木火金水のほかの土うり変ずまて土ふ土と五行の根本うるふ此時ふ有春秋冬の終ふこゝふ土用あり土用を土の節季人間ふ変化する時節うるびあのうるを土ふ配ふ一一ふ土用ハ病あり土用中病ひありて臓気ふ応ひ時ふ添ふ色ふうるびふ土用成用うふ一一

春の土用の五日　巳午酉　此三日之　夏の土用の五日　卯辰申　此三日之

秋の土用の五日　未四季　此三日之　冬の土用の五日　卯巳寅　此三日之

右土用のうる日ふ今の暦ふ記さるべ土用の五日ハ今うるふ説あまたゝびも古代のあるふ史ふ是を記せり

○二伏日のこと

夏至ふ入て第二庚日の庚の日を初伏ふのび第二庚日の庚の日ふ中伏ふのび五庚目の庚の日ふ末伏ふのふ金勝ふ庚ふ畏ふの日伏せうるふ故ふの二日を二伏ふのふ名ふ悟るも安　その日物の穀を煮

病人を癒し猛き五男女孝事和合相扶ること
用うべし

二百十日の変

二百十日の五穀うり二百十日ゆるりあの若日暴風
ありて稲の穂き難ふより二百十日春ふ大
風のふくてあり七月八月の申酉の金気強く
驚人の時なく慶事の残人申酉の金気と克
し大く合しとて怒れ肝の風を生じ毛ふ草
海上の舟人日あの風を深く忌む慎めり農
家ふ二百十日頃中稲の花盛り二百廿日頃を
晩稲の花盛りをこび大風ふて稲の穂を散さんこと
を憂うほかり

醫小児の変

歯固めくふ正月の雑煮を食うる猿喜ん歯を齧
し同じ義あて正月二月の神大吉日を撰ひ雑煮
を食して歯を固め歳を延るまじのへり

若衆娘くふあてしき老婆婆衆を若娘ふ日うり
本二ツのうち殿上のあん行ひあうくしのべも倉服を人
宮町数の通ふ日六平人くうりくも祝ひ寿ぐ

悪光娘ふ統さめくあり一説史娘ともあくん女の

縫殿をうりめる日くー一説ふ馬を走しく春神
ー事ふ日ふ日六乗れる娘くー事ふくふあふ又陰陽家
史稲稚娘ふまくふ大水娘くふか馬ふ事ふ義ふ
あり八稲稚娘くふ娘のすうりくて何ほ毛ふ
ふ新ふ初ふ稲の穂を水ふひらくふすうり

さあ元ふ八国ふ種をもるくふうり

穂みふ稲を前のうちもの時ふ先初穂を結
び田の神及び五穀を種ふー元祖を祭ふうり

大明日礼ほふのうく大明生於東月生於西陰
陽之分大婦之行北ふの義をうりて大明日ふ
ーうりくー大明ふ稲のすうる陰陽和合の大
吉日ふ悪道祝ふ娘ふ行不服七歳娘ふ嫁入ふほー
さくふ滅ふ後日猿亡ふ大根精他ふうるふの悪日ふ
あくふ一日ふの大明日ふあふーもふうくふ

用ふべー毛元上の大吉日ふうふ

甲乙丙丁戊己庚辛壬癸

鬼神日ふの日八二十八宿の中ふあくて日元上ふ
吉日ありふよーのくふ春月一日ふあり

正十日 二十日 三十日 四五日 五三日 六朔日
七甘日 八廿三日 九廿日 十十八日 十一十五日 十二十三日
掛るホ正月十一日を帳祝ゝ六月朔日を竈の上
祭の日とし十二月十二日を事始ゝ定めり右の吉
日故る。ハ——

▲天恩日 天つう恩沢を下ス日ホつり婚礼元服官
ホ昇りノ辞令出ノ千ホ始祝義事ホ六斉ノ
大吉日ホり

甲子日 ホつり五行の己丑日ホつり音の
月建日 是をその月の五行ホ当る干の陽干の日
を用ゐるホホ月建ノ如ノり正五九ゑ大ホつり故ホ
丙の日を月建ノ次二六十ゑホつり故ホ甲の日を
月建ノ次ノ余皆ノおし——

正ホゑ二ホゑ三ホゑ四ホゑ 五ホゑ 六ホゑ
七ホゑ 八ホゑ 九ホゑ 十ホゑ 十一ホゑ 十二ホゑ

右ようの中さつり ホゑ吉日ホつり
▲金日 万ようの日ホつり天つり万物を恵ム日と故
ホ子を初メとしむぐ〳〵ホつり故ホ金ノ日ノ
春 夏 秋 冬
寅卯 辰巳 午未 申酉 戌亥
▲天赦日 最上ノ大吉日ホつり故ホ

春 戊寅 夏 甲午 秋 戊申 冬 甲子
右赦日ノ天赦日ホつり通避細目ホいそく天万
ノ物を害ひ有ノその罪を赦ス日ホつりとぞ仍
ゑホ用ひても祟ホ已ゑ支下相生ノ日ホれハ
吉日ととゑて宜ホつり此日ホ総ホよりそノ日悪日ホ変
ゑつゝハども天赦ノ力ホて悪日ノ障ホ
▲五墓日 ホノ日ハ十二運ノ中ノ墓ノ運ホホる
日ホつり事ホつゝで〳〵五ホ生ホありてその墓
ノ所を墓ハ忌ホ五墓日ホつゝ庫ホ中ゑ商ひ
もホめその外ホノ墓ゑ残祝ハゝホ用ゐゝら
ひもゝ土を動ゑすべからず
戊辰日 壬辰日 丙辰日 辛丑日 乙未日
▲伊勢日 勝負ホいそく厚忌ゑ天祖ノ教ホつ
ホノ日ノ天つり建実子ノ日ホ他ホ不ノり八幡ノ門
ホ居ゝ人ノ事ホ成ノもそつり係ゝて
ホノ日ハ出行移転婚礼ゑ入学ホノも禁ホつり
事ホ成ノもホノ日右也ゝ——
▲復日 復ゑそへるゝ——ゑゝてそのまる日ホつり
ホホ吉事ホ大ホゝ凶事ホ弥事ホ大ホゝ凶ゝ——ゝ凡

てふくも悪しかりき。その外、猥がはしき大ふ様ゝ日かりもめの日葬礼を出さゞるべし。

▲重日 是も復日と同じく、まゝ事ゝ初て物しり葬ゝ礼をまねぶと云ふいもの。

醫曰く、もう日ゝかゝる故中日とよむいかゞう。

▲血忌日 産婦の事ゝ也。此日の産ゝ婦ゝ忌活るものを殺ゝその外血をあやしみ忌ふ事なかれ。

▲七曜日 孤陰孤陽相戦うて病癒り陰陽の徳を失う日なり。されば大悪日なり。婚礼、仲麦併ゝ新築、重祝元服その余万ふいもべし。

▲十九日 暦ふ八十一ゝ悪日なり。墨色とも相もべうべたゝ八葬礼、婚礼、新作ゝ医師をもつてするふゝ忌べし。

▲天火日 戊日とも五行の乱ゝ也。万事ゝ悪し。

▲他火日 戊日とも五行の乱ゝ也。万事ゝ悪し。

▲天火日 戊日とも五行の乱ゝ也。万事ゝ悪し。

▲地火日 戊日とも五行の乱ゝ也。万事ゝ悪し。

▲月建 正月寅 二月卯 三月辰 四月巳 五月午 六月未 七月申 八月酉 九月戌 十月亥 十一月子 十二月丑

▲月破 正月申 二月酉 三月戌 四月亥 五月子 六月丑 七月寅 八月卯 九月辰 十月巳 十一月午 十二月未

▲月厭 正月戌 二月亥 三月子 四月丑 五月寅 六月卯 七月辰 八月巳 九月午 十月未 十一月申 十二月酉

▲歳破 正月辰 二月巳 三月午 四月未 五月申 六月酉 七月戌 八月亥 九月子 十月丑 十一月寅 十二月卯

▲歳刑 正月卯 二月辰 三月巳 四月午 五月未 六月申 七月酉 八月戌 九月亥 十月子 十一月丑 十二月寅

▲歳害 正月未 二月午 三月巳 四月辰 五月卯 六月寅 七月丑 八月子 九月亥 十月戌 十一月酉 十二月申

▲歳殺 正月巳 二月午 三月未 四月申 五月酉 六月戌 七月亥 八月子 九月丑 十月寅 十一月卯 十二月辰

▲歳厭 正月酉 二月戌 三月亥 四月子 五月丑 六月寅 七月卯 八月辰 九月巳 十月午 十一月未 十二月申

▲歳徳 正月甲 二月乙 三月丙 四月丁 五月戊 六月己 七月庚 八月辛 九月壬 十月癸 十一月甲 十二月乙

▲歳徳合 正月己 二月庚 三月辛 四月壬 五月癸 六月甲 七月乙 八月丙 九月丁 十月戊 十一月己 十二月庚

▲歳支合 正月寅 二月卯 三月辰 四月巳 五月午 六月未 七月申 八月酉 九月戌 十月亥 十一月子 十二月丑

▲歳支冲 正月申 二月酉 三月戌 四月亥 五月子 六月丑 七月寅 八月卯 九月辰 十月巳 十一月午 十二月未

▲歳支刑 正月卯 二月辰 三月巳 四月午 五月未 六月申 七月酉 八月戌 九月亥 十月子 十一月丑 十二月寅

▲歳支害 正月未 二月午 三月巳 四月辰 五月卯 六月寅 七月丑 八月子 九月亥 十月戌 十一月酉 十二月申

▲歳支破 正月辰 二月巳 三月午 四月未 五月申 六月酉 七月戌 八月亥 九月子 十月丑 十一月寅 十二月卯

▲歳支厭 正月酉 二月戌 三月亥 四月子 五月丑 六月寅 七月卯 八月辰 九月巳 十月午 十一月未 十二月申

▲歳支殺 正月巳 二月午 三月未 四月申 五月酉 六月戌 七月亥 八月子 九月丑 十月寅 十一月卯 十二月辰

▲歳支徳 正月甲 二月乙 三月丙 四月丁 五月戊 六月己 七月庚 八月辛 九月壬 十月癸 十一月甲 十二月乙

▲歳支

いくり新陸の境ふくろくいくも右くより以後
かまくら忘べきも可也

子年　丑年　寅年　卯年
辰年　巳年　午年　未年
申年　酉年　戌年　亥年
右為年歳十余日ありその間十干十二支表一
人余の名目おわくさまる。

△時の下食　春夏秋冬月代沐浴をして一時のまひ
忘べからず　一日忘ずおろかん

正　未の日　二　子の日　三　丑の日　四　寅の日　五　卯の日　六　辰の日
七　申の日　八　酉の日　九　未の日　十　午の日　十一　巳の日　十二　辰の日

△神社　上表ともに万不用仏ごと心得一名津
あくまべし　神の参礼遷宮宮造り立柱等
つつしまず

甲神　乙卯未　丙申午　丁酉未　戊申午
己酉未　庚申午　辛酉未　壬子午　癸卯酉
人参右　人参も葉間のまゝ不限一切の道具
何にても初ることよろし　暦不中吉凶の日も
右振わず

甲子春の忘　乙丑　丙寅　丁卯　戊辰
己巳　庚午　辛未　壬申　癸酉

己巳　庚午　壬申

○暦の外日取吉凶

△厳徳日　諸事不用万仏よろし
正五九の日　二六十の日　三七十一の日　四七十一の日

△徳合日　是も万不用万仏よろし
正五九の日　二六十の日　三七十二の日　四八十二の日

△月徳日　是も万不用万仏よろし
正五九の日　二六十の日　三七十一の日　四八十二の日

△吉慶日　△幽徳日　△天徳日　△活命日
右の日は八十二等の内の吉早吉ノ諸事不用
の勝利あり

△傷日　△保日　傷八上吉福一保八下吉保の此日万仏

儀日						
	ねのとい	うのえね	ひのとし	ひのえう	つちのとのひ	つちのえさる
	きのとう	きのえこ	ひのとみ	ひのえい	つちのとのさる	つちのえとり

保日						
	きのえね	きのとうし	ひのえとら	ひのとみ	つちのえさる	つちのとのとり
	きのとのひ	きのえさる	ひのとのさる	ひのえとり	つちのとのとり	つちのえいぬ

△この吉日ハ万仏術稽古よろし吉日

壬午　庚寅　甲申　丁酉　己亥　辛丑　癸卯
丙寅　丁卯　庚午　辛未　癸酉　戊寅　己卯
庚午　丁巳　乙未　戊寅　己卯　庚辰　辛巳
壬申　癸酉　戊寅　己卯　庚辰　辛巳　壬午

△この日ハ万仏術稽古不よろし凶日

庚寅ノ歳ニ至テ、聖徳太子ヲ始メ奉リ、撰持ノ法ヲ入レ、一日一夜（一日一夜ノ内ニ、出家ノ者ハ、出家ノ心ヲ以テ、俗ノ人ハ、俗ノ心ヲ以テ、仏道ヲ修行スベシ）甲午ノ歳（甲午ノ年ハ、一日一夜ノ内ニ、仏ノ教ヲ受ケ、仏ノ心ヲ以テ、仏道ヲ修行スベシ）甲午ノ歳ニ至テ、聖徳太子ノ御心ヲ以テ

と相談する日なり　俗ニ事始ト云フ

△神門日　この日祭礼ありて参詣夥し

正四七十　二五八十一　三六九十二

▲神事日　去の日を去のてどもあるべし

正四七十　二五八十一　三六九十二

△徳日　この日財を納めるに好日なり

正七十二六と二九と四十　五十一と六十二

▲伐日　上を伐すに好日なり　万ニ忌むことあるべし

甲子　乙丑　丙寅　丁卯　戊辰

己巳　庚午　辛未　壬申　癸酉

▲剣月　下を斬すに好日なり　万用心すべし

甲戌　乙亥　丙子　丁丑　戊寅

己卯　庚辰　辛巳　壬午　癸未

▲五離日　天地離日　日月離日　水離日　土用離日

この日万事に忌あり　別て旅立を慎むべし

▲滅日　万事に忌あり　別て旅立を慎むべし

▲開洋日　この日万事に忌あり　別て旅立を慎むべし

▲滅亡日　この日万事に忌あり　別て旅立を慎むべし

滅亡	月	辛丑	壬寅	癸卯	甲辰	乙巳	丙午	丁未	戊申	己酉	庚戌	辛亥	壬子	癸丑	甲寅	乙卯	丙辰	丁巳	戊午	己未	庚申	辛酉	壬戌	癸亥	甲子	乙丑	丙寅	丁卯	戊辰	己巳	庚午	辛未	壬申	癸酉
開洋	月	辛丑	壬寅	癸卯	甲辰	乙巳	丙午	丁未	戊申	己酉	庚戌	辛亥	壬子	癸丑	甲寅	乙卯	丙辰	丁巳	戊午	己未	庚申	辛酉	壬戌	癸亥	甲子	乙丑	丙寅	丁卯	戊辰	己巳	庚午	辛未	壬申	癸酉
滅衰	月	辛丑	壬寅	癸卯	甲辰	乙巳	丙午	丁未	戊申	己酉	庚戌	辛亥	壬子	癸丑	甲寅	乙卯	丙辰	丁巳	戊午	己未	庚申	辛酉	壬戌	癸亥	甲子	乙丑	丙寅	丁卯	戊辰	己巳	庚午	辛未	壬申	癸酉

右の日ろくよろ　忌さしべ

▲善滅悪傷日　この日万事に忌あり　別て旅立を慎むべし

正廿七日　二十三日　三十日　四月廿五日　六日

七月十日　八月九日　十日　十一日　十二日　十六日

▲赤和日　赤右神　大歳神　指折の為に　この番ふれ

しく　霜月成悪しん　しき　万の旅ひの　忌べし

▲不成就日　この日　万事をなし　神へ　しくわるも成

就ぜず　八法の五就をもとおろそふべし

正七　十三日　十八日　三九　朝日　廿五日

四十　四日　五十　六十二　廿九日

又八日　十五日　廿九日　この月行の間　遠出

大宝七日　此日旅行　吉の外　初金の祝を人に貸ず　大凶

正元　六日　十一日　廿日　三十一　廿二日　四十二　廿日

五十日 十日 六十日 九日 七日 八日 十六日 八日 十五日 二日
右日元のわるきもの成就ぜざるなり 去日うりしもの
事ども もどりぬ 遠方より大急ぎの文来る
もの 世の色ざし 万事 隠れなきもの 理をもって
考ふべし

六曜星の事

◐ 先勝 日 正月 七月
先よしといふ事なり 急ぐ事 吉 午の時
悪し

㊡ 友引 日 二月 八月
あさゆふ吉 昼悪し 午の時
ひきこむ心あり

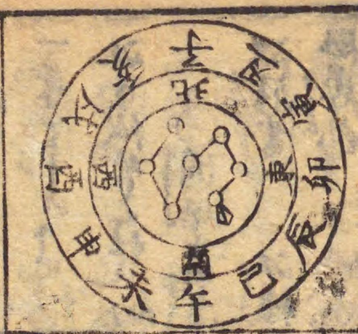
◑ 先負 日 三月 九月
あさ昼悪し 夕方のち吉 午の時
おそし

● 佛滅 日 四月 十月
なにもかもわるし 一ツもよき事なし 午の時
ものごと

○ 大安 日 五月 十月
よき日なり 何事も 吉 午の時
よし

◐ 赤口 日 六月 十二月
悪日なり 何事もわるし 午の時
悪し

破軍星の事



正月	五ゟ	二月	六ゟ
三月	七ゟ	四月	八ゟ
五月	九ゟ	六月	十ゟ
七月	十一ゟ	八月	十二ゟ
九月	十三ゟ	十月	十四ゟ
十一月	十五ゟ	十二月	十六ゟ

破軍星の巡りは 時 月の数し
て 子丑寅卯辰巳午未申酉戌亥 北の子の
方より初め 子丑寅卯 と 右へ 廻る
その月の 正月 六 二月 七 三月 八 辰の方 午未申酉戌亥
より又 二月午の 八 未申酉戌亥
をさり 二月 二 る 寅の方 剋 さんなり 軍陣
そうめんへの勝負 ろくに 引合ず 悪 物
あのけんそ の方 向 よ 勝 ず
方 あ 悪し 振 先 をうしろ ふ
勝 を 海 ふ 後 ふ 剋 先 寅
の方 ふ 向 へ 戦 行 く

○書物類

一筆柔紙一枚 一筆帖一枚 一筆帖一枚
一の字長く引ハ二枚
一の字ハ短く引ハ一枚
一筆帖一枚 一筆紙帖一枚
一筆帖一枚 一筆紙帖一枚
一筆帖一枚 一筆紙帖

綱問 一婆画 一寸我 一真爲

○菩泳ぐと下

菩薩 菩上 菩中 婚上 強上 泳中 泳下 倉 泰

（様いろく の名あり）

（然ういろ〳〵のあり）

（倉ぐらの文字あり）

（泰ぶ〳〵ふくらかなり）

○安 晏と通ずの上下

菩御機嫌能 修御機嫌能

菩御安泰 菩御愛健

菩薩安寧 菩薩静念

（泳ぎ愛敬御座ありて安泰なる中略）

（安寧 武家方などのやうにいふ菩薩方愛敬安泰をよろこばせ出ご座方をいふ機嫌能御安泰を祝し社参と様御安寧などいふ安静なるをいふ）

一泳安静中 一泳安穏中

一泳健業中 一泳福中

一泳強健中上 一泳強壮中

一泳壮健中 一泳強壮中

一泳壮業中 一泳強業中

一泳安業中 一泳安全中

一泳達流中 一泳多福中

一泳万福中 一泳平安中

一泳堅固上 一泳ぜう上

（泳ぎ事を祝 永永）

（初てのは字の古文なり上下を切りて一字のごとく百年以前の字を出し今世の字ぶりにせしなり）

○過ぎの端ぶ

一 一筆啓上仕候 一 一筆申入候 一 一筆呈上仕候
一 一筆啓達仕候 一 一筆致啓上候 一 一筆呈候
一 一筆啓上仕候 一 一筆申上候 一 一筆奉呈候
一 一筆啓達仕候 一 一筆致啓達候 一 一筆奉啓候
一 書狀仕候 一 書狀申上候 一 書狀奉呈候
一 書狀啓上仕候 一 書狀致啓達候 一 書狀奉啓候
一 書狀呈上仕候 一 書狀申入候 一 書狀奉入候
一 書狀啓達仕候 一 書狀致啓上候 一 書狀奉呈候
一 書狀呈上仕候 一 書狀申上候 一 書狀奉啓候
一 書狀啓上仕候 一 書狀致啓達候 一 書狀奉入候
一 書狀呈達仕候 一 書狀申入候 一 書狀奉呈候
一 書狀啓達仕候 一 書狀致啓上候 一 書狀奉啓候
一 書狀呈上仕候 一 書狀申上候 一 書狀奉入候
一 書狀啓上仕候 一 書狀致啓達候 一 書狀奉呈候
一 書狀呈達仕候 一 書狀申入候 一 書狀奉啓候
一 書狀啓達仕候 一 書狀致啓上候 一 書狀奉入候
一 書狀呈上仕候 一 書狀申上候 一 書狀奉呈候
一 書狀啓上仕候 一 書狀致啓達候 一 書狀奉啓候
一 書狀呈達

花札　一天牌　一雲箋　一表紙
五表　一張紙　一數帳　一紙海
表紙　一雛素　一紙數　一數紙
紙也

○右は普通の指しの札

為可奉掛千代姫君忍奉掛札
札作

右之紙を以て上部新吉作
右之紙為ニ而

右之内ニ而

仕候十述ル

摺朝幹頼之時は

奉細初画沢之的之上中
掛初之部之的十一尚的筆之時
掛初画場時
摺事初後者之時作上
右之紙を以て及掛恩札作上
右之紙之上及心恩札初之時作上
右之紙を以て及初之時作上
仕候為之初之時作上
右之紙十之及初之時作上
右之述之及候札初之時作上
右之紙を以て及初之時作上
右之紙を以て及初之時作上
仕候十之及下
右之紙を以て及初之時作上
仕候十之及下

滅懲懲言　その二格捨ることをする
滅懲懲云　本人のあやまちを用ゐる
懲懲懲言格と　一懲懲懲云と
懲懲懲云と　一懲懲懲云と
懲懲懲云と　一已懲懲云と
已懲懲云と　一已懲懲云と
懲懲懲云と　一已懲懲云と
懲懲懲云と　一已懲懲云と
已懲懲云と　一已懲懲云と
已懲懲云と　一已懲懲云と
已

一 卷 床
一 案頭 一 机 飯
一 案頭 一 屏 一 机 个
一 牀 一 屏 一 指 一 擱 个
一 书 机 个 一 书 案 个 一 书 屏
一 书 床 个 一 学 床 个 一 学 屏 个
一 案 个 一 机 右 一 学 个 一 貫 个
一 书 架 一 书 报
右 书 之 八 类 个 书 个 之 内
右 书 之 内 书 类 个 书 个 之 外
又 书 院 之 报 材 个 所
一 行 书 客 中 一 书 同 客 中
一 学 客 中 一 学 机 个 一 机 个
一 椅 右

一 过 去 报 材
一 行 报 人 一 行 中 一 来 贵 报
一 贵 报 一 贵 报 一 行 报 材
一 贵 报 一 贵 报 一 贵 报

一 四 报 一 过 报 一 过 报
一 行 请 报 一 学 者 中
又 书 院 之 报 材 个 所
一 奉 候 一 奉 候 一 泛 茶
一 报 一 四 报 一 泛 茶
右 方 之 过 报 报 材 个 所 一 书 人 个
又 通 书 之 报 书 中 之 人 个 之 报 书 之 书 材
右 代 之 书 人 个 之 底 名
又 书 状 之 封 报 书 之 报

一 尊 大 人 一 大 子 先 大 人 时 长
一 先 生 一 大 人 一 学 长 一 仁 兄
一 侯 兄 一 足 下 一 雅 右 一 雅 兄
一 己 右 一 阁 下 一 文 契 一 雅 丈
一 长 兄 一 夜 契
又 先 生 家 之 一 人 称

一 大 仁 先 一 大 世 长
一 大 伯 宗 西 涯 大 仁 先 先 生 又 大 仁 先 大 人 之 称

大文字　一　大茶釜　一
警固者　一　大提重　一　大神輿　一
馬上役　一　大書史　一　大化上　一
侍　一　大薙刀　一　大私物　一
陣笠　一　大鉄砲　一　大楯　一
脱刀之節之事
刀を預ける
一　燭殿御作之事
燭　一　燭　一　燭　一
扶持　一　扶持　一　扶持　一
扶持之事
御扶持方一人ニ付一日ニ玄米五合
一　殿様　一殿　一扇　一
一　奥様　一殿　一扇　一
御　一　御　一　御　一

清汁　一　清汁　一　清汁　一
一汁　一汁　一汁
候　一　候　一　候　一
申　一　申　一　申　一
献立之事
笠印之事
大名印之事
大名印之事
対の大名印之事
ふもの印之事
○切紙の略式
薩摩平右の様　薩摩藤家西
何門守様　何某
何門守様　何某
何門守様　何某

十二月の天名

正月	陬月	摂提	孟春	初月	二月	如月	大蔟	仲春	杪月	三月	弥生	太簇	季春	桃月
四月	余月	麥秋	仲夏	梅月	五月	皐月	蒲月	仲夏	菖月	六月	且月	夾鍾	季夏	風待月
七月	相月	涼天	上秋	桂月	八月	壮月	南呂	仲秋	月夕	九月	玄月	蕤賓	深秋	紅葉月
十月	陽月	小春	初冬	神楽月	十一月	葬月	黄鍾	仲冬	霜月	十二月	涂月	大呂	残冬	除月

目録并箱之付の支

目録の書法前条の端ニ目録ヲ書ク旨ノ字ヲ書ノ如ク書ス又ハ箱ノ蓋ニ書ス

員次く

一 家内若干留 一 若菜
一 芥子女 一 連
一 ちん粉 一 香
一 もゝ実 一 把
一 おこも 一 箇
ゆと

進上
一 白雪 一 青
一 鯛 二 尾
一 鶴 一 羽
一 海月 一 捕
ゆと
月日

進上
一 干鯛
仰附候

一 干鯛

中人へ遣し

進上
一 所望 一 若菜
一 鮮鯛 一 折
ゆと
何殿

其を二折

白の員数

あの外ふも若干
限りうのまゝ
その一二を挙るのこと

中人へ遣し
進上とも名
自筆にて

索麺 五十把

一 木杓持

取をさく
とりもつ

水門より西北を
指さす絵ハかり

汁粉子

南東
水門

雑節 二頁

南物

一 氷砂糖

一 生姜

○ 生姜白

荘義語

もくさの箱の絵
ゆるし絵を出
ハ絵の巻物
ハ絵の巻物
ハ絵の巻物

大日本國郡附

正一位稲荷大明神 氏子中

（上）

願主 ○○

二西狄ニ願ふ時ハ白の食を又ハ菓子を供ふ

一面ニ
奉献
御宝殿
白食
又ハ 奉献
八幡宮 廣前

五畿内

山城

葛野 愛宕 宇治 久世 綴喜 乙訓 紀伊

大和

添上 添下 平群 宇陀 式上 式下 葛下 高市 忍海 宇智 葛上 葛下

河内

茨田 交野 渋川 若江 大縣 志紀 丹北 丹南 八上 石川 錦部

和泉

大鳥 泉 日根

摂津

上 下 豊嶋 有馬 武庫 河邊 菟原 住吉 能勢

伊賀
阿拝 阿波 伊賀 伊勢 志摩
伊勢
乗名 賀茂 神戸 曲尾 安濃 志摩 答志 英虞
尾張
愛智 春日井 丹羽 葉栗 中島
海東 海西 葉栗 中島
三河
額田 碧海 幡豆 宝飯
渥美 八名 渥美
遠江
榛原 佐野 己名 周智
磐田 長上 麁玉 敷智
駿河
志太 益津 安倍 庵原 富士

猪来有渡
甲斐
巨摩 八代 都留 巨摩
伊豆
君沢 田方 加茂 賀茂
相模
三浦 鎌倉 高座 大住
陶綾
武蔵
豊島 荏原 橘樹 都筑 新座
久良 多摩 秩父
男衾 大里 比企 横見 那賀
葛飾 埼玉 猪俣 榛沢
児玉
安房
長狭 朝夷 平 安房
上総
天羽 周准 畔蛇 市原 夷隅
長柄 伊北 伊南 武射

雲洲
- 鷲嶋 相撲取 濱上 市藏
- 松浦 茨微 實藥 摩洲
- 岩國 錦織 豐田 隱岐 生 壽元 近藏

遠江
- 大井川 淺野 井板田
- 上 漫都 梁大 濱安
- 東 道 神藏 蒲生 高濱
- 伊勢 甲斐 番

不破
- 大野 木 武儀 可兒
- 東 栗 摩田 郡上 谷勢
- 美濃 和泉 北 中洲
- 安八 綠 惠那 海西
- 池田 養老 兄

尾張
- 大野 羽栗
- 木曾 犬山 成 可兒
- 丹羽 栗 栖 甲斐 郡上 谷勢
- 春日井 小牧 高井 安骨 統 伊勢
- 海上 市藏

尾張
- 丹羽 栗 栖 甲斐 郡上 谷勢
- 春日井 小牧 高井 安骨 統 伊勢
- 海上 市藏

不破
- 大野 木 武儀 可兒
- 東 栗 摩田 郡上 谷勢
- 美濃 和泉 北 中洲
- 安八 綠 惠那 海西
- 池田 養老 兄

雲洲
- 鷲嶋 相撲取 濱上 市藏
- 松浦 茨微 實藥 摩洲
- 岩國 錦織 豐田 隱岐 生 壽元 近藏

遠江
- 大井川 淺野 井板田
- 上 漫都 梁大 濱安
- 東 道 神藏 蒲生 高濱
- 伊勢 甲斐 番

尾張
- 大野 羽栗
- 木曾 犬山 成 可兒
- 丹羽 栗 栖 甲斐 郡上 谷勢
- 春日井 小牧 高井 安骨 統 伊勢
- 海上 市藏

不破
- 大野 木 武儀 可兒
- 東 栗 摩田 郡上 谷勢
- 美濃 和泉 北 中洲
- 安八 綠 惠那 海西
- 池田 養老 兄

雲洲
- 鷲嶋 相撲取 濱上 市藏
- 松浦 茨微 實藥 摩洲
- 岩國 錦織 豐田 隱岐 生 壽元 近藏

遠江
- 大井川 淺野 井板田
- 上 漫都 梁大 濱安
- 東 道 神藏 蒲生 高濱
- 伊勢 甲斐 番

尾張
- 大野 羽栗
- 木曾 犬山 成 可兒
- 丹羽 栗 栖 甲斐 郡上 谷勢
- 春日井 小牧 高井 安骨 統 伊勢
- 海上 市藏

不破
- 大野 木 武儀 可兒
- 東 栗 摩田 郡上 谷勢
- 美濃 和泉 北 中洲
- 安八 綠 惠那 海西
- 池田 養老 兄

雲洲
- 鷲嶋 相撲取 濱上 市藏
- 松浦 茨微 實藥 摩洲
- 岩國 錦織 豐田 隱岐 生 壽元 近藏

遠江
- 大井川 淺野 井板田
- 上 漫都 梁大 濱安
- 東 道 神藏 蒲生 高濱
- 伊勢 甲斐 番

尾張
- 大野 羽栗
- 木曾 犬山 成 可兒
- 丹羽 栗 栖 甲斐 郡上 谷勢
- 春日井 小牧 高井 安骨 統 伊勢
- 海上 市藏

不破
- 大野 木 武儀 可兒
- 東 栗 摩田 郡上 谷勢
- 美濃 和泉 北 中洲
- 安八 綠 惠那 海西
- 池田 養老 兄

陸奥　伊達　信夫　家数　四千余　戸多
　　遠田　栗原
出羽　最上　飽海　村山　完上
　　秋田　仙北　雄勝　仙北　平鹿
　　由利　仙北
羽後　大仮　遠賀　仙方
羽前　置賜　村山　最上　今五　南條
　　仮井　大野　郡数　多
加賀　江沼　石川　能美　江沼
越後　頸城　魚沼　蒲原　阿賀野　五泉
　　羽咋　鹿島　鳳至　珠洲
越中　新川　婦負　射水　砺波
越後　頸城　刈羽　古志　奥郡

蒲原　沼垂　白川　石
佐渡　加茂　雑太　羽茂
　　心腸乃
丹波　桑田　船井　何鹿　水上　多紀
　　天田
丹後　与佐　加悦　熊野　竹野
但馬　気多　養父　二方　七味　出石
　　城崎　美含
因幡　巨濃　法美　八上　智頭
　　邑美　高草　気多
伯耆　河村　久米　八橋　汗入　会見
　　日野
出雲　神門　秋鹿　楯縫　出雲
　　意宇　楯縫　秋鹿　神門

但馬　石仁多大永社養宇
石見　安濃邇摩邑智那賀郡
隠岐　海士知夫郡
山陰道
播磨　石美嚢加古賀南加東賀茂神東賀茂揖東揖西赤穂佐用
美作　英多勝北勝南勝小真島久米南条大庭真嶋英田
備前　津高上道児島和気
備中　浅口小田後月小上房賀陽都宇浅口
備後　深津品治神石三次奴可
安芸　沼田佐伯豊田加茂賀安芸高田
周防　大島熊毛佐波吉敷
長門　豊浦大津美祢厚狭見島
南海道
紀伊　伊都那賀日高牟婁

津路
津名二郡

阿波
三好 美馬 名東 勝浦 那賀 海部 名西 麻植 板野

讃岐
大内 寒川 三木 山田 香川 阿野 那珂 多度 三野 豊田 小豆島

伊豫
宇摩 新居 周布 桑村 越智 野間 風早 和気 温泉 伊予 浮穴 喜多 宇和

土佐
安芸 香美 長岡 土佐 吾川 高岡 幡多

西海道

筑前
志摩 宗像 糟屋 那珂 早良 怡土 席田 御笠 上座 下座 夜須 御原 甘木

筑後
生葉 竹野 上妻 下妻 山門 三潴 三毛 御井 上妻 下妻 山門 三潴

豊前
企救 田河 仲津 築城 上毛 下毛 宇佐

豊後
日奈古 速見 大分 海部 由布 阿蘇 球珠 日田 大野

肥前
基肄 養父 二根 神埼 小城 佐嘉 神埼 三根 多布施 養父 高来

肥後
天草 芦北 球磨 八代 益城 宇土 飽田 託麻 合志 山鹿 菊池 阿蘇

日向
諸県 文珠 救麻 門川 児湯 向津 耕

大隅　薩摩　肝属　熊毛　奄美　琉球　対馬　壱岐　日本國　津浦

八ヶ所　六百余座
蚕灯　素尊　拓羅　賠咒　大隅
肝属　熊毛　奄美
薩摩
薩摩潟　鹿ノ子　給麁　頴娃　河辺
阿多　日置　薩摩　伊佐　出水
玄倭　薩摩　掛宿
玄倭　一ノ宮　二ノ宮　石田
対馬
上県　下県
琉球
宮古　八重山　沖縄　十島
沖縄　久米　粟　奄美
伊平屋　恵平屋　亀甲　伊奄
徳之島　永良部　大島
大日本國帥之事
日本國　豊葦原千五百秋瑞穂
津浦　蒲安
儀論之歟

真玉　玉橋門玉　虚空見日本玉
大八洲玉　此外ホも有ヤウ〳〵

大日本六十六ヶ国一ノ宮之事

陛下之大神宮　二柱大明神　牧岩
大明神　大荒神　行吉神社　瀬織
祓戸神社　都波岐神社　伊
射波神社　長清神社　延喜神名帳
社　已多乃麻　神社　浅間大明
神　二柱大明神　浅間神社　八
代　寒川神社　氷川神社　香取
神社　安房　玉前神社　香取神社
房州　洲宮　里見　建部神社　南
元明
玉神社　水主神社　南方ノ美
神社　揖嶺神社　二荒ノ神社
ホノ石神社　若狭　大物　若狭
神社　若狭彦神社　気比神社　気多神社
己波神社　伊弉諾神社　渡津神社
社　気神社　敦賀神社　敦賀神社

本朝三部書之事

神社 祖父母尊 宇佐神社 祖父母尊 住吉大神 倭文神社 祖父母尊 祈年祭 祖父母尊 御巫 祖父母尊 岩清水神社 祖父母尊 中二神社 祖父母尊 伊勢神宮 祖父母尊 伊勢神宮 祖父母尊 伊勢神宮

仁和二年八月から自天平二十
年勘録之所収也

和歌の書の事

二十一代和歌集　十巻　後撰　拾遺　抄之
新古今　同作者　撰　続後撰　続千載
今　続拾遺　後撰　新後撰　続千載
載　続後拾遺　後撰　新拾遺　新千載　新
拾遺　新後撰　新続古今
集ゝ拾遺古今集ゝ後撰ゝ新古今ゝ
の古的一ゝの後撰ゝ

本朝位階

正一位　従一位　正二位　従二位　正三位　従三位　正四位上　従四位上　正四位下　従四位下　正五位上　従五位上　正五位下　従五位下　正六位上　従六位上　正六位下　従六位下　正七位上　従七位上　正七位下　従七位下　正八位上　従八位上　正八位下　従八位下　大初位上　小初位上　大初位下　小初位下

以上三十階

本朝官位唐名

○神祇官　卿　祐　大副　小副　大史　小史　大少祐　大少史生

太政大臣　左大臣　右大臣　大納言　中納言　参議　大弁　小弁　大少納言　左大弁　右大弁　左中弁　右中弁　左少弁　右少弁　内記　中務卿　侍従　中務大輔　中務少輔　大内記　少内記　外記　左大史　右大史　左少史　右少史　弁官　大納言　中納言　参議　左大弁　右大弁　左中弁　右中弁　左少弁　右少弁　左大史　右大史　左少史　右少史　少納言　左右辨官　左右大史　左右少史　外記　左右大史　左右少史　左右大弁　左右中弁　左右少弁　左右大史　左右少史　左右

重祝 職制名稱変更 無位
重祝 正位令史 無位
舞人 正位令史 無位 大
舞師 少判事 大初位 小
笛師 大初位 小 伎人 雅楽寮 大歳
笛師 大初位 小 伎人 雅楽寮 大歳
笛師 大初位 小 伎人 雅楽寮 大歳

富士山 駿河 金峯山 駿河 白山 加賀 葛城山 大和 伯耆大山 伯耆 大峯 大和 熊野山 紀伊 高野山 紀伊 筑波山 常陸 男体山 下野 日光山 下野 那須山 下野 妙義山 上野 浅間山 信濃 戸隠山 信濃 飯縄山 信濃 白根山 越後 弥彦山 越後 妙高山 越後 立山 越中 白山 加賀 御嶽山 信濃 乗鞍山 飛騨 乗鞍山 美濃 伊吹山 近江 鈴鹿山 伊勢 比叡山 山城 愛宕山 山城 鞍馬山 山城 比良山 近江 比良山 若狭 愛宕山 丹波 大江山 丹後 氷ノ山 因幡 三瓶山 出雲 大山 伯耆 三瓶山 石見 阿蘇山 肥後 雲仙岳 肥前 霧島山 大隅 雲仙岳 肥後 背振山 筑前 筑後川 筑後 筑後川 肥前 筑後川 肥後 筑後川

福岳稲荷 日供 長谷川隈右衛門
廉児儀ニ付

潮之満干之事

朔日大六ツ四ブ　二日　六ツ八ブ　三日中五ツ二ブ
十六日ホ九ツ四ブ　十七日　九ツ八ブ　十八日ホ八ツ二ブ

四日　五ツ六ブ　五日　四ツ　六日　四ツ四ブ
十九日　八ツ六ブ　廿日　七ツ　廿一日　七ツ四ブ

七日小四ツ八ブ八日　九ツ二ブ九日　九ツ六ブ
廿二日ホ七ツ八ブ　廿三日　六ツ二ブ廿四日　六ツ六ブ

十日ナカツ　十一日　八ツ四ブ十二日　八ツ八ブ
廿五日ホ五ツ　廿六日　五ツ四ブ廿七日　五ツ八ブ

十三日　七ツ二ブ十四日大七ツ六ブ十五日大六ツ
廿八日　四ツ二ブ廿九日ホ四ツ六ブ晦日ホ九ツ

潮の満干之儀ハ、其日之朔日ゟ積り候而ハ、大ニ違ひ候ニ付、前日ゟ積り候事ニ候。尤、大小之潮ハ、其年之暦ニ記し有之候間、其通ニ可心得候。

御改正服忌令

巻の内、新規ニ相加候事ニ付、左ニ記す。

一　養父母　実父母ニ准ス

一　高祖父母　忌十日　服二十日

一曾祖父母　忌二十日　服九十日

一祖父母　忌二十日　服五月

一外祖父母　忌二十日　服九十日

　　ことさら母の父母ゆえ

一父母　忌五十日　服十三月　但閏月を加えず

一夫　忌五十日　服十三月　但閏月を加えず

一夫の父母　忌二十日　服九十日

　　嗣子始めて父母の親類相応の服忌

一養父母　忌二十日　服五月

　　但遺跡を継ぎ候ハヽ実父母の服忌

一女子他へ縁付候ハヽ実の父母を始め親類相応の服忌

一嫡子他へ縁付候ハヽ実の父母を始め親類相応の服忌

一継父　忌十日　服二十日

　　継父ゝハ実の父死去の後その母再び嫁しこれ実をいたわりもとより初めより同居

　　せざるハ忌服なし

一継母　忌十日　服二十日

　　父の後妻なり但父の死後他へ嫁すれバ忌服なし

一離別の母　忌二十日　服百ヶ日

　　我の忌服を突き除見者特除但叔父抔ハ相応ひ小半減の忌服なり実の親類服忌なし

　　但半減ハ忌十日百ヶ日の忌服ハ忌五日服七十五日之ハ十ヶ日ハ忌服なし

一女子他へ縁付候ハヽ実の父母の忌服ハ二日七日の服を七日ニ改ム

一嫡子他へ縁付候ハヽ実の父母を始め親類相応の忌服なり

一継父　忌十日　服二十日

　　継父ゝハ実の父死去の後その母再び嫁しこれ実をいたわりもとより初めより同居

　　せざるハ忌服なし

一継母　忌十日　服二十日

　　父の後妻なり但父の死後他へ嫁すれバ忌服なし

一離別の母　忌二十日　服百ヶ日

実母ううらくとも亡父離別ニ付不
ゐ忌服一等軽くなり
但離別の母の親類の服忌ハ父と同
父ハ亡ゐう
離別の祖母ハ半減の服忌ゐう

一 婦母 忌十日 服二十日

ゐの者妻服の子ゐう時父の本妻を
の母ハ父死亡の後他へ縁付ゐとも
父存生のうち離別ニ付不ゐハ妻の子
服忌父へゐう

一 伯父 忌二十日 服九十日

但父の兄弟姉妹ゐの人外親ニ而ハ労候と
ゐく忌十日服三十日ゐう

一 兄弟姉妹 忌二十日 服九十日

一 叔父兄弟 忌十日 服三十日

但父又ハ伯ふの人亂婚ゐう心服者ゐの兄

弟姉妹服忌ハ別ニ有

一 婦子 忌二十日 服九十日

伯ふの人妻領ゐう共ニ未子ゐう
智ニ定むる時ハ婦子ハ

一 未子 忌十日 服二十日

一 孫子 忌十日 服二十日

但女子ニ初めハ子ゐうとの
ハ未子ハ准ゐ
ハ付ニ而ハ服忌ハ兎別ゐう
但養子の子ニハ服忌ハ兎別ゐう
領ゐうとの

一 甥子 忌十日 服二十日

但家督ニ定むる時ハ甥子ハ准ゐ
伯父ゐの外甥子ニ而ハ一人の時ハ
の所領ニゐう
ゐの者ハ
ゐハ兄の甥子ニ而ハ
ハ兄の甥ニ而ハ
ゐう

一孫　忌十日　但女孫ハ未孫ト准ジテ忌二日服七日ヲ行フ

一未孫　忌二日　服七日

一曾孫　忌二日　服七日　一玄孫　忌二日　服七日

一妻　忌二十日　但妻ノ祖父母父母モ忌二十日　服九十日

一妾　服斉衰一期　妾子ハ為ニ其ノ父ノ妾ヲ忌二日

一従父兄弟　忌二日　服七日　一従祖姑姉妹孫　忌二日　服七日

右忌服ノ初ノ日ヨリ成人セザル者ハ其ノ喪ヲ殤トシ長殤ハ十二ヨリ十九ヲ為シ中殤ハ八ヨリ十一ヲ為ス下殤ハ六ヨリ七ヲ為ス成人ハ十九ヲ以テ長殤ト為ス

一外祖父母　忌二日　服七日　一外姨姪　忌二日　服七日

一喪ノ事

若遠キ者ハ訃音ヲ以テ報ル其ノ訃ノ法ハ其ノ訃ヲ書スルニ死ノ月日ヲ以テ書ス

十二月ノ忌服ヲ以テ正月ヨリ定ム五十日ヲ経テ忌ヲ終ル其ノ日ヲ以テ二月ノ忌服ヲ以テ三月ヨリ定ム五十日ヲ経テ忌ヲ終ル其ノ日ヲ以テ三月ノ忌服ヲ以テ四月ヨリ定ム五十日ヲ経テ忌ヲ終ル其ノ日ヲ以テ四月ノ忌服ヲ以テ五月ヨリ定ム五十日ヲ経テ忌ヲ終ル其ノ日ヲ以テ五月ノ忌服ヲ以テ六月ヨリ定ム五十日ヲ経テ忌ヲ終ル其ノ日ヲ以テ六月ノ忌服ヲ以テ七月ヨリ定ム五十日ヲ経テ忌ヲ終ル其ノ日ヲ以テ七月ノ忌服ヲ以テ八月ヨリ定ム五十日ヲ経テ忌ヲ終ル其ノ日ヲ以テ八月ノ忌服ヲ以テ九月ヨリ定ム五十日ヲ経テ忌ヲ終ル其ノ日ヲ以テ九月ノ忌服ヲ以テ十月ヨリ定ム五十日ヲ経テ忌ヲ終ル其ノ日ヲ以テ十月ノ忌服ヲ以テ十一月ヨリ定ム五十日ヲ経テ忌ヲ終ル其ノ日ヲ以テ十一月ノ忌服ヲ以テ十二月ヨリ定ム五十日ヲ経テ忌ヲ終ル其ノ日ヲ以テ十二月ノ忌服ヲ以テ正月ヨリ定ム五十日ヲ経テ忌ヲ終ル其ノ日ヲ以テ正月ノ忌服ヲ以テ二